



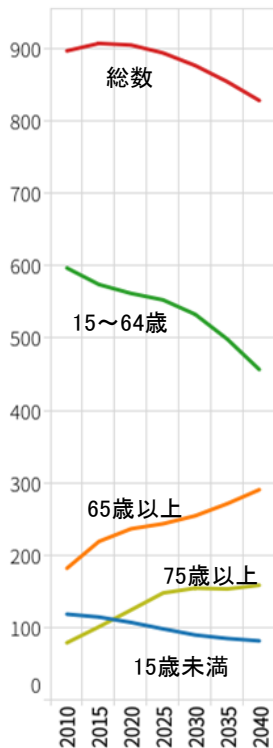
川崎地域の現状について

2021/7/28（水）

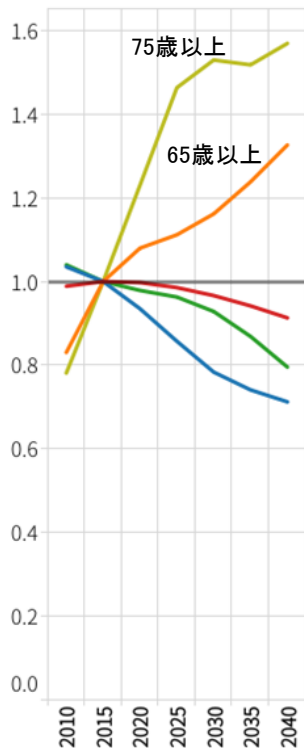
令和3年度第1回川崎地域地域医療構想調整会議

県内の人口と入院患者の推計

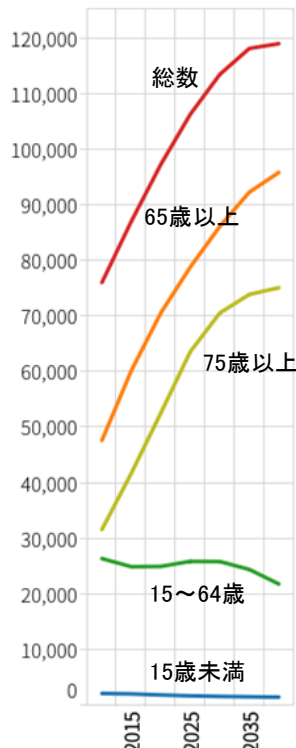
年齢区分別人口(万人)



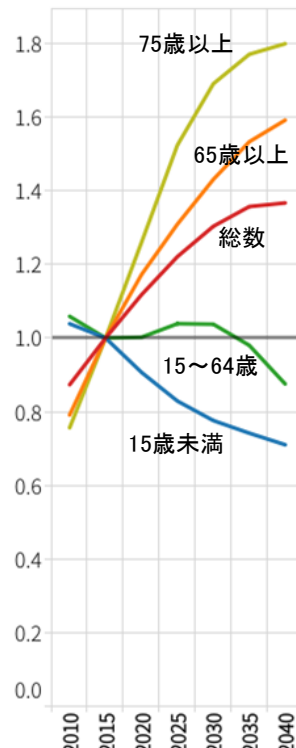
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)



- 県内の人口の総数は年々減少
- 65歳以上の高齢者は年々増え続ける。
- 特に75歳以上の高齢者の増加率が高く、2015年比で2025年には、約1.46倍、2040年には約1.57倍に増加する。
- 1日入院患者数は、2015年比で2025年には1.22倍に増加し、2040年には1.37倍に増加する

H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp

総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

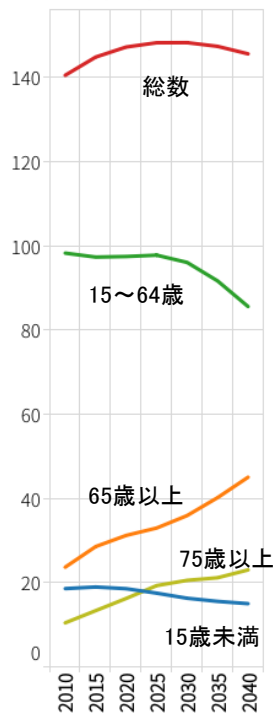
出典: 国際医療福祉大学 石川ベンジャミン光一先生
<https://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>

※人口: 性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

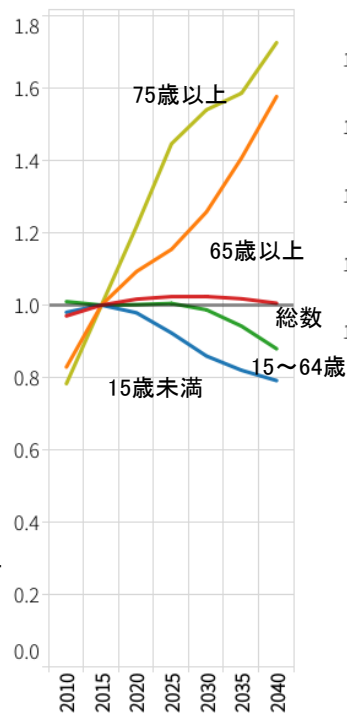
※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

川崎地域における人口と入院患者の推計

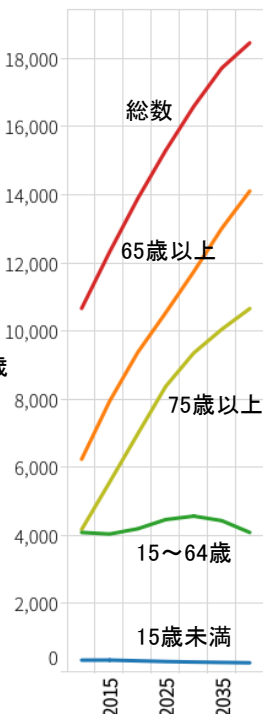
年齢区分別人口(万人)



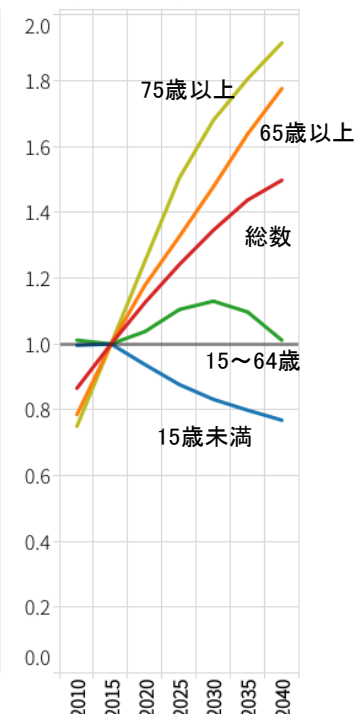
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)



○川崎地域の人口は2030年をピークに減少する。
 ○65歳以上の高齢者は年々増え続け、2015年比で2025年は1.15倍、2040年は1.58倍となる。
 ○特に75歳以上の高齢者の増加率が高く、2015年比で2025年には約1.45倍、2040年には約1.73倍に増加する。

○1日入院患者数は、2015年比で2025年には、1.24倍に増加し、2040年にも1.5倍に増加する。

H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

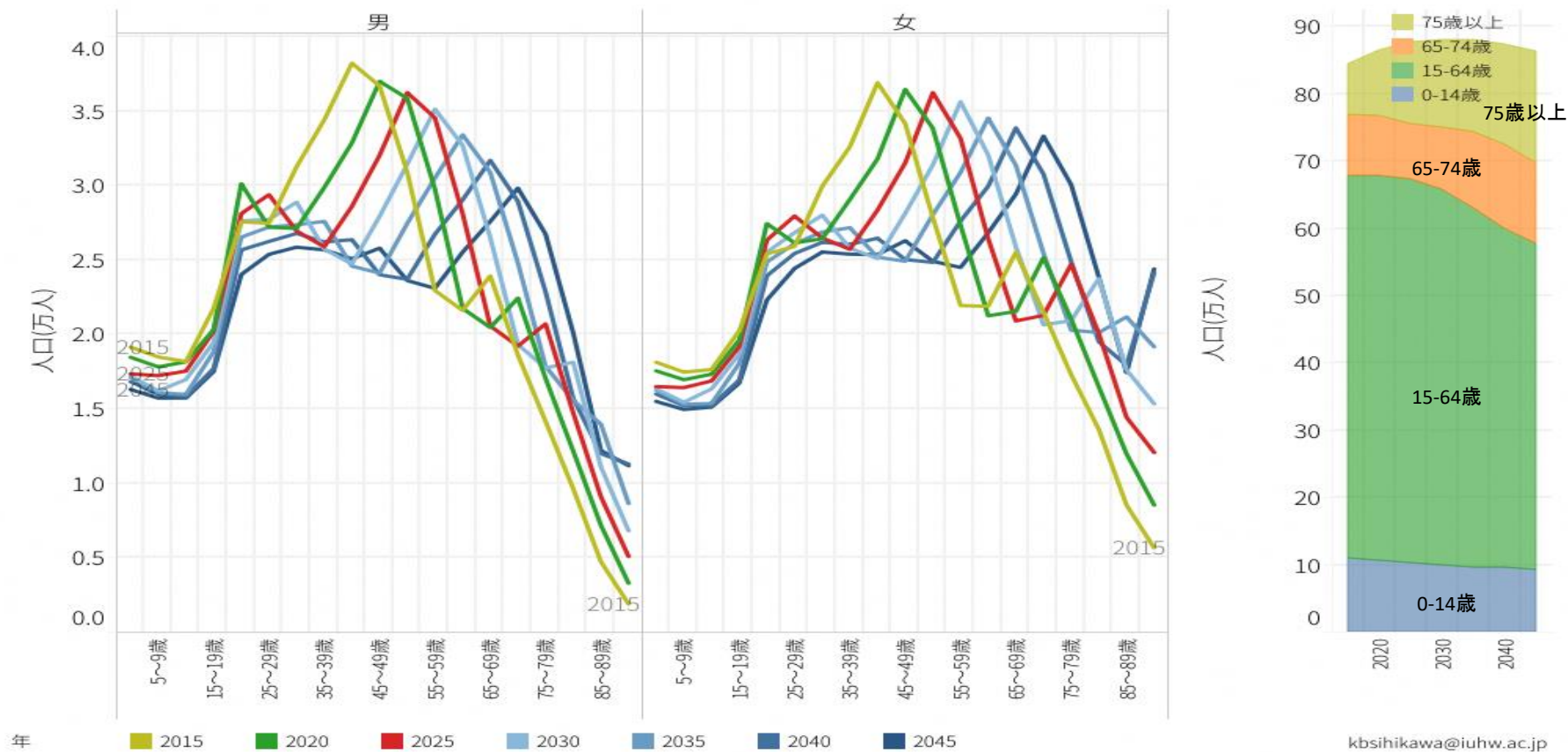
出典:国際医療福祉大学 石川ベンジャミン光一先生

<https://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>

※人口:性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

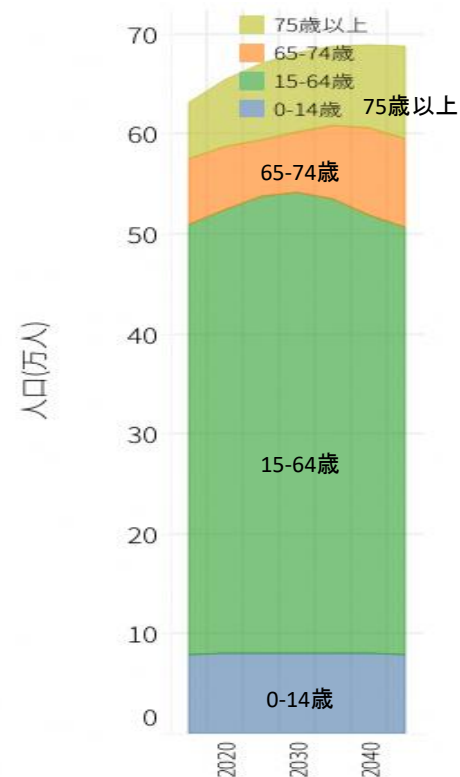
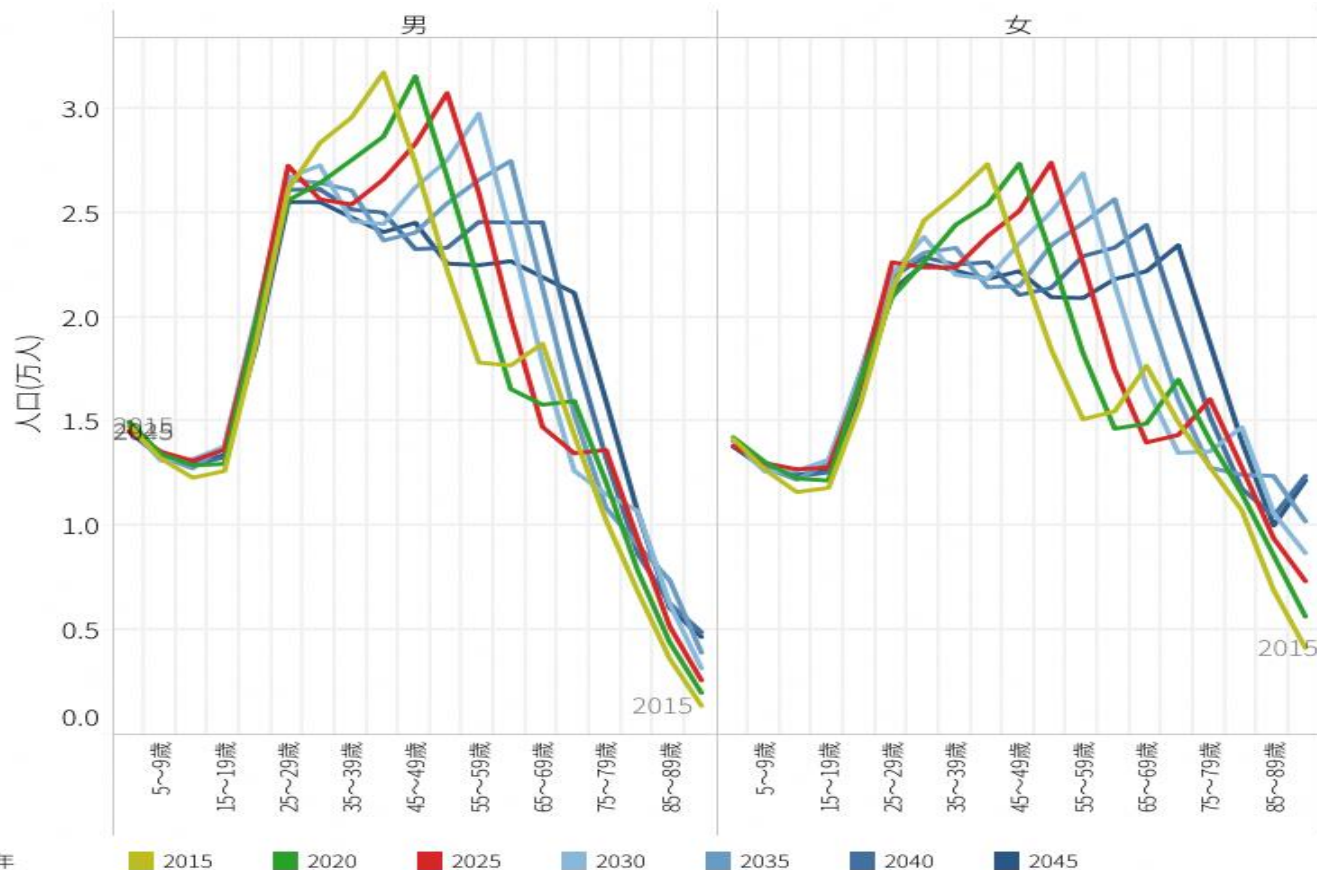
川崎北部地域における性・年齢階級別人口動態の推計



Data Source : 国立社会保障・人口問題研究所 : 日本の地域別将来推計人口 (平成30 (2018) 年推計) <http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp>

kbsihikawa@iuhw.ac.jp

川崎南部地域における性・年齢階級別人口動態の推計

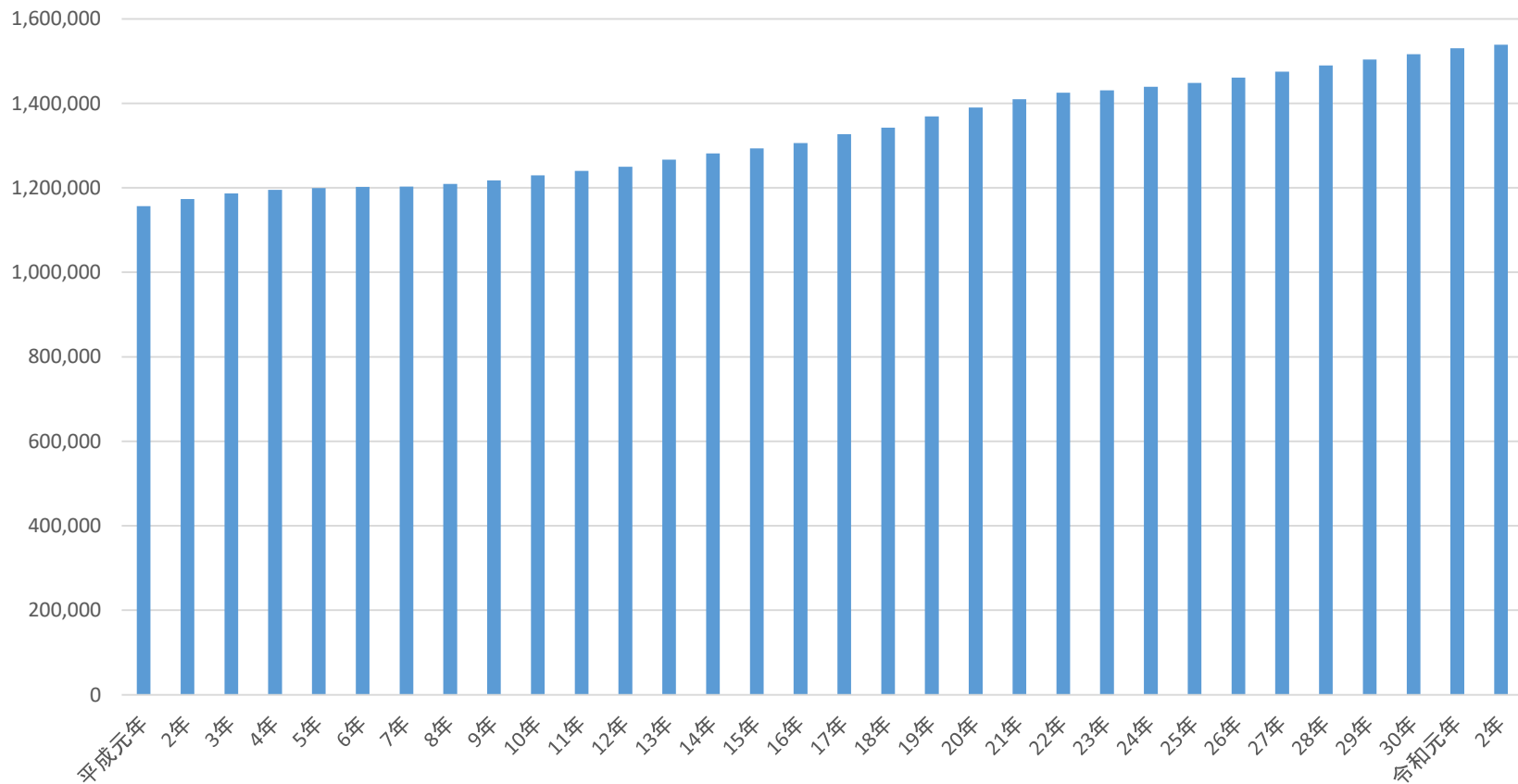


Data Source : 国立社会保障・人口問題研究所 : 日本の地域別将来推計人口 (平成30 (2018) 年推計) <http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp>

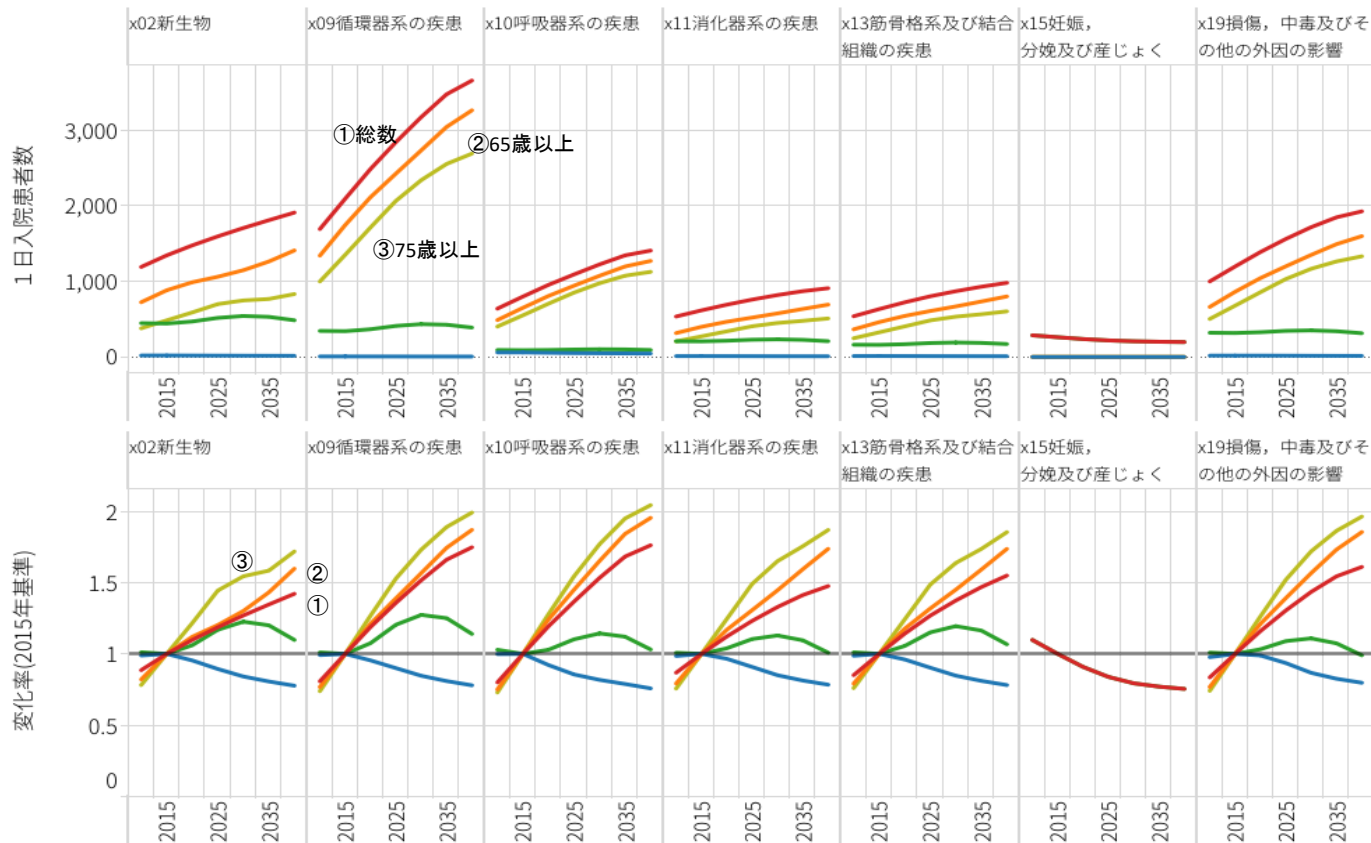
kbsihikawa@iuhw.ac.jp

川崎地域の人口の推移（平成元年～）

出典：「川崎市統計書」、「毎月世帯数・人口」
※令和2年の数値は、令和2年国勢調査川崎市独自集計による速報値の結果



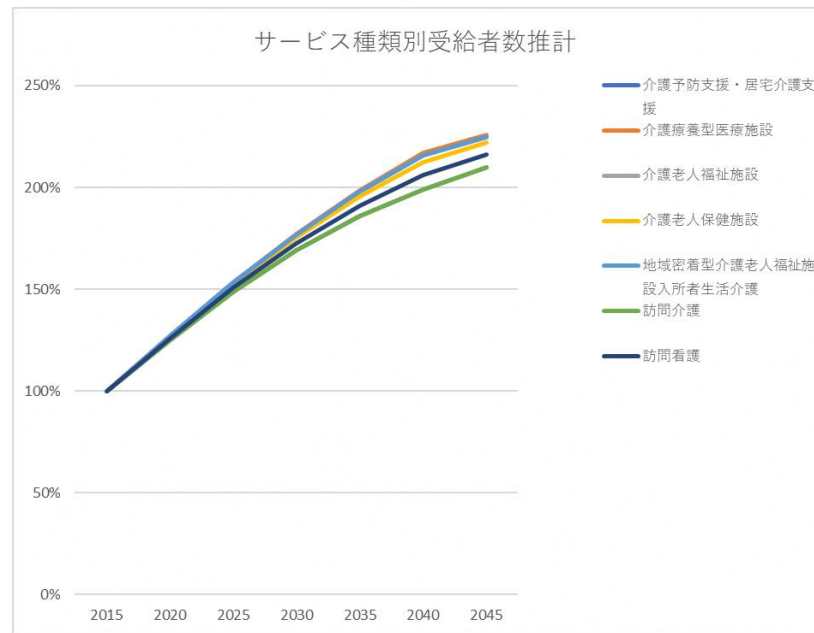
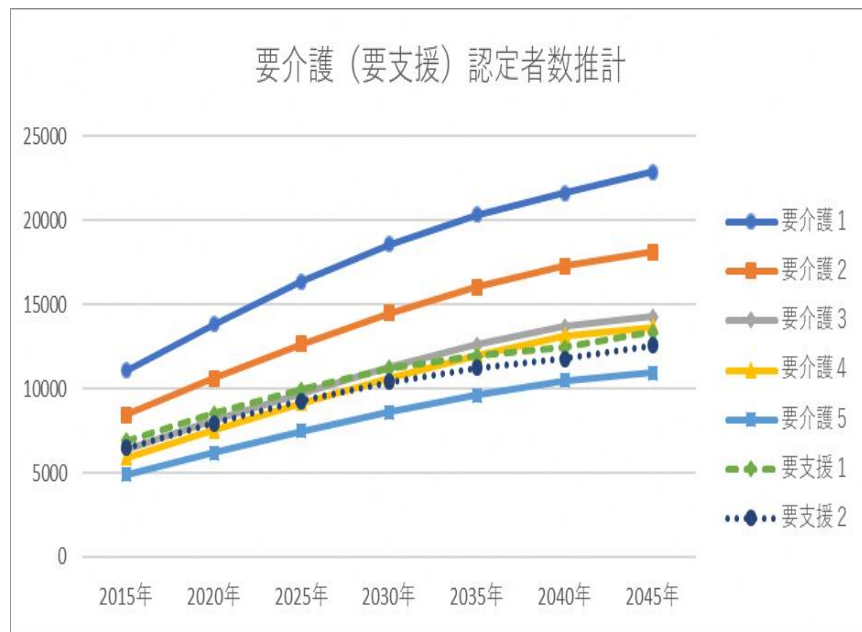
川崎地域における疾患別の入院患者数の推計



○分娩及び産じょくを除き、すべての疾患で増加し続ける。

○特に循環器、呼吸器系、損傷等の疾患の増加率が高い。

川崎地域における要介護認定者数・介護サービス受給者数推計



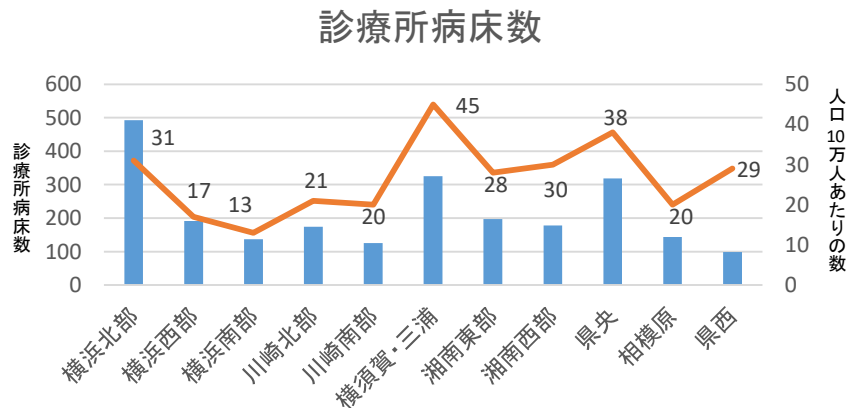
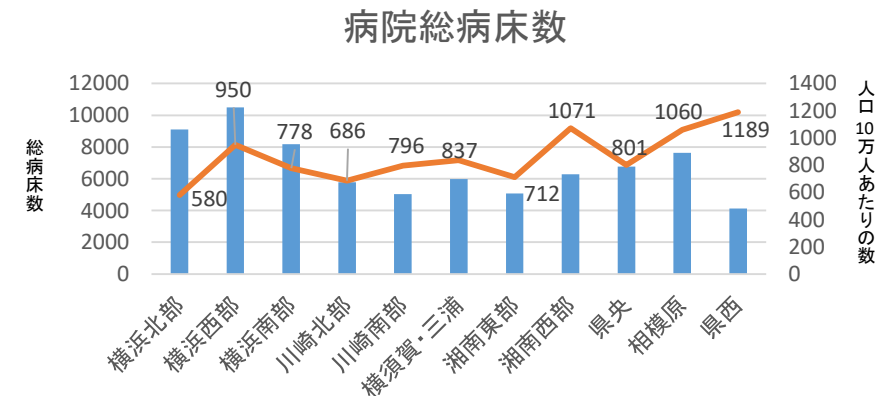
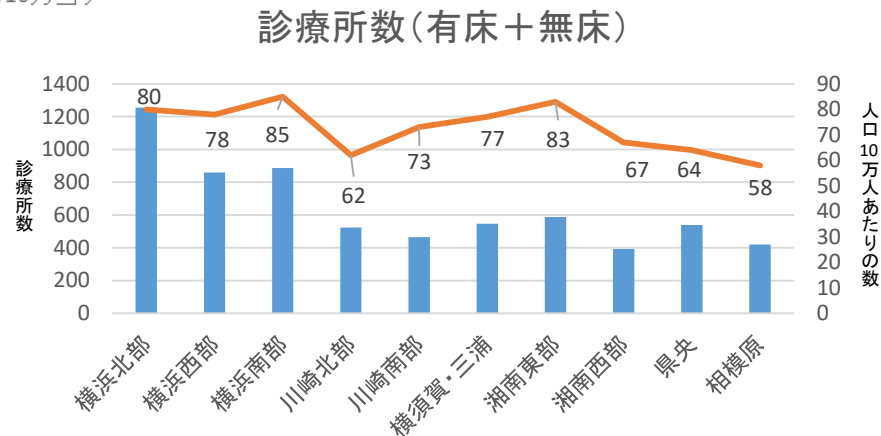
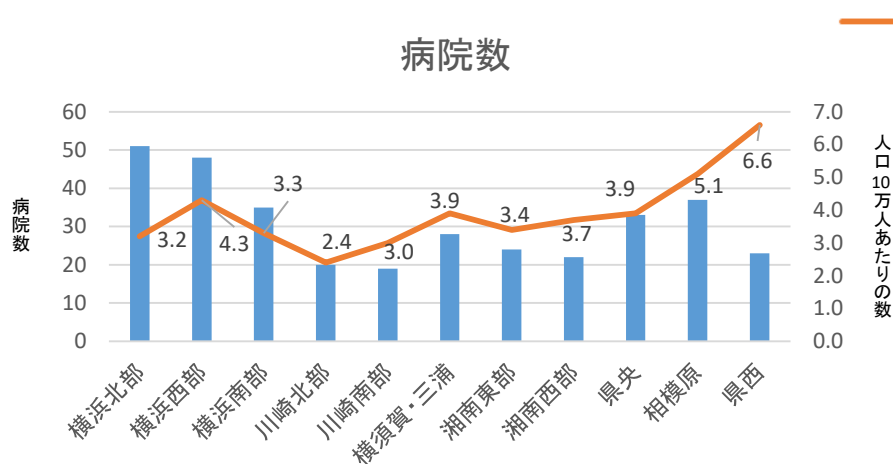
○ 要介護（要支援）認定者数は、2045年に向けていずれも増加

○ サービス受給者数は、いずれも約2倍以上程度増加する見込みである。

（介護予防支援、居宅介護支援、介護療養型医療施設、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、訪問介護、訪問看護の指標で抽出）

県内医療施設の状況

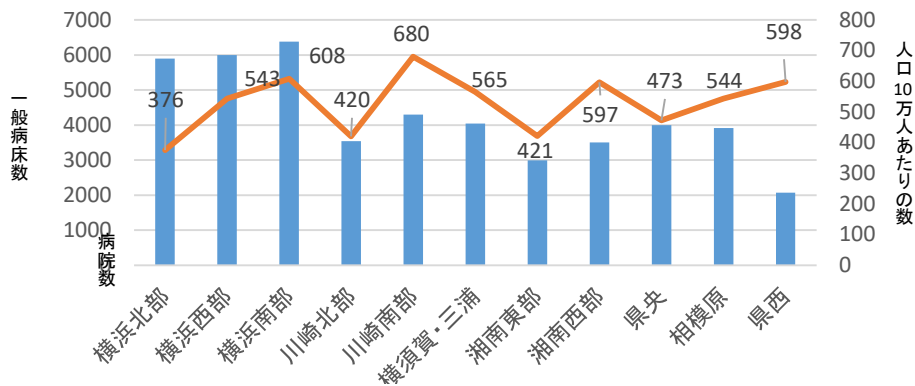
出典:平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省平成30年10月



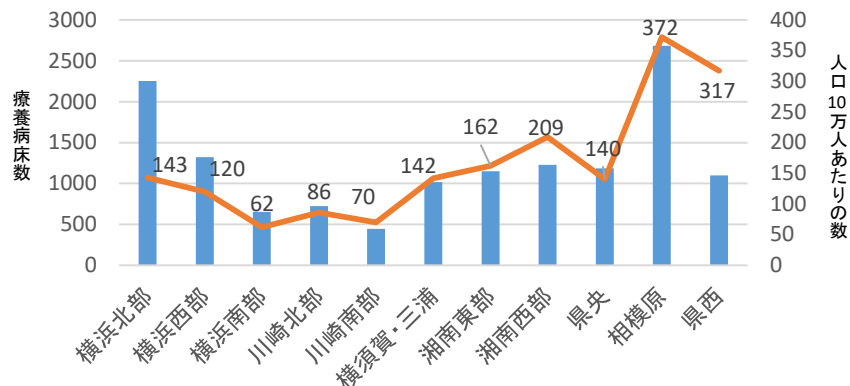
県内病床の状況

出典：平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省平成30年10月

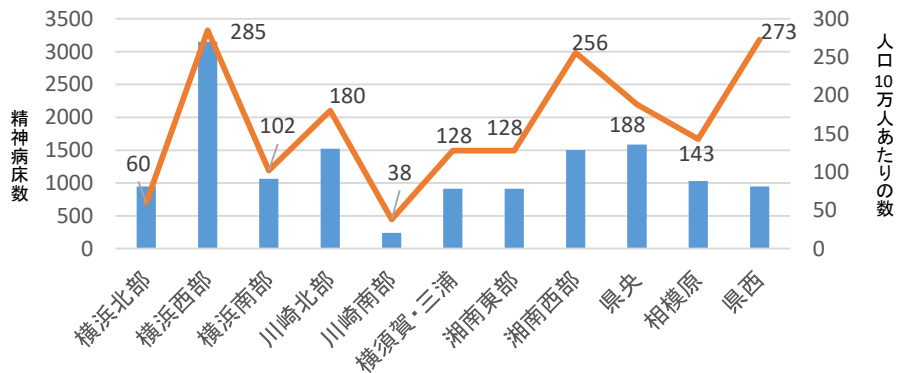
一般病床数



療養病床数



精神病床数



川崎北部と南部を比較すると

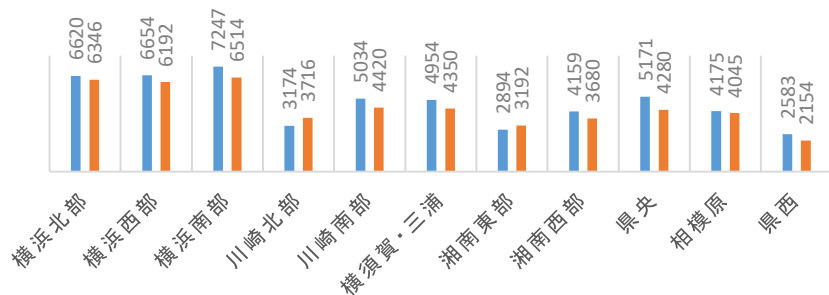
- 病院の総病床数人口10万人当りでみると南部の方が北部より110床多い。
- 一般病床は人口10万人当りでみると南部は北部の1.62倍となっている。
- 療養病床数は人口10万人当りの違いはほとんどないが、精神病床数は北部が南部の約6.38倍となっている。

県内病床数の状況

出典：2004年 平成16年医療施設調査 厚生労働省平成16年10月
2018年 平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省平成30年10月

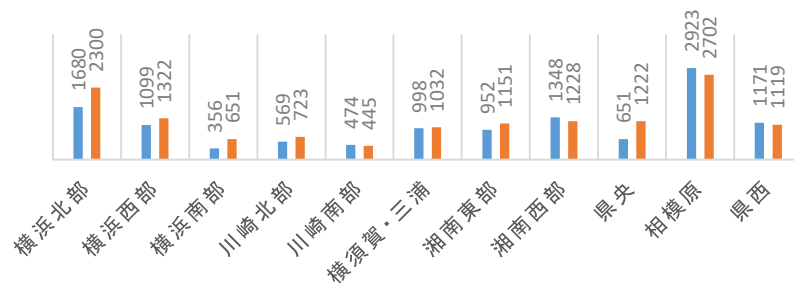
一般病床数（病院＋診療所）推移

■ 2004 ■ 2018



療養病床数（病院＋診療所）推移

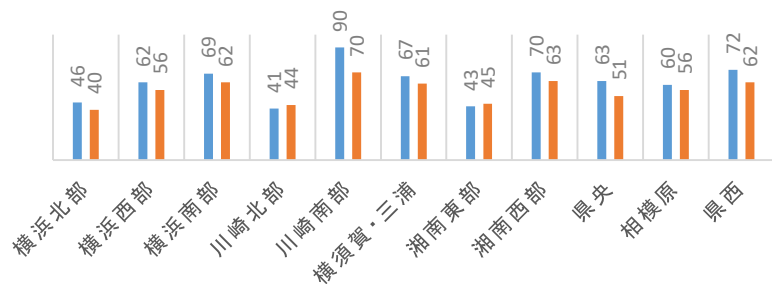
■ 2004 ■ 2018



一般病床数（病院＋診療所）推移

人口1万当りの数

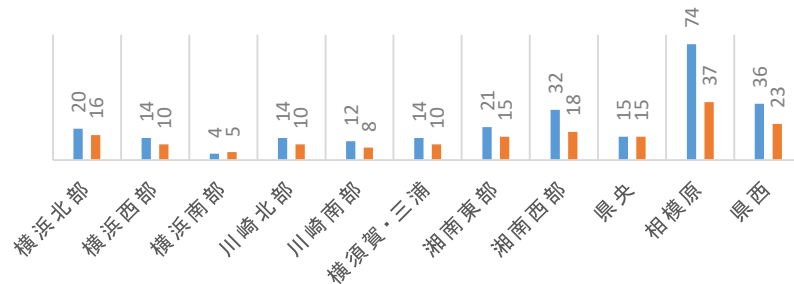
■ 2004 ■ 2018



療養病床数（病院＋診療所）推移

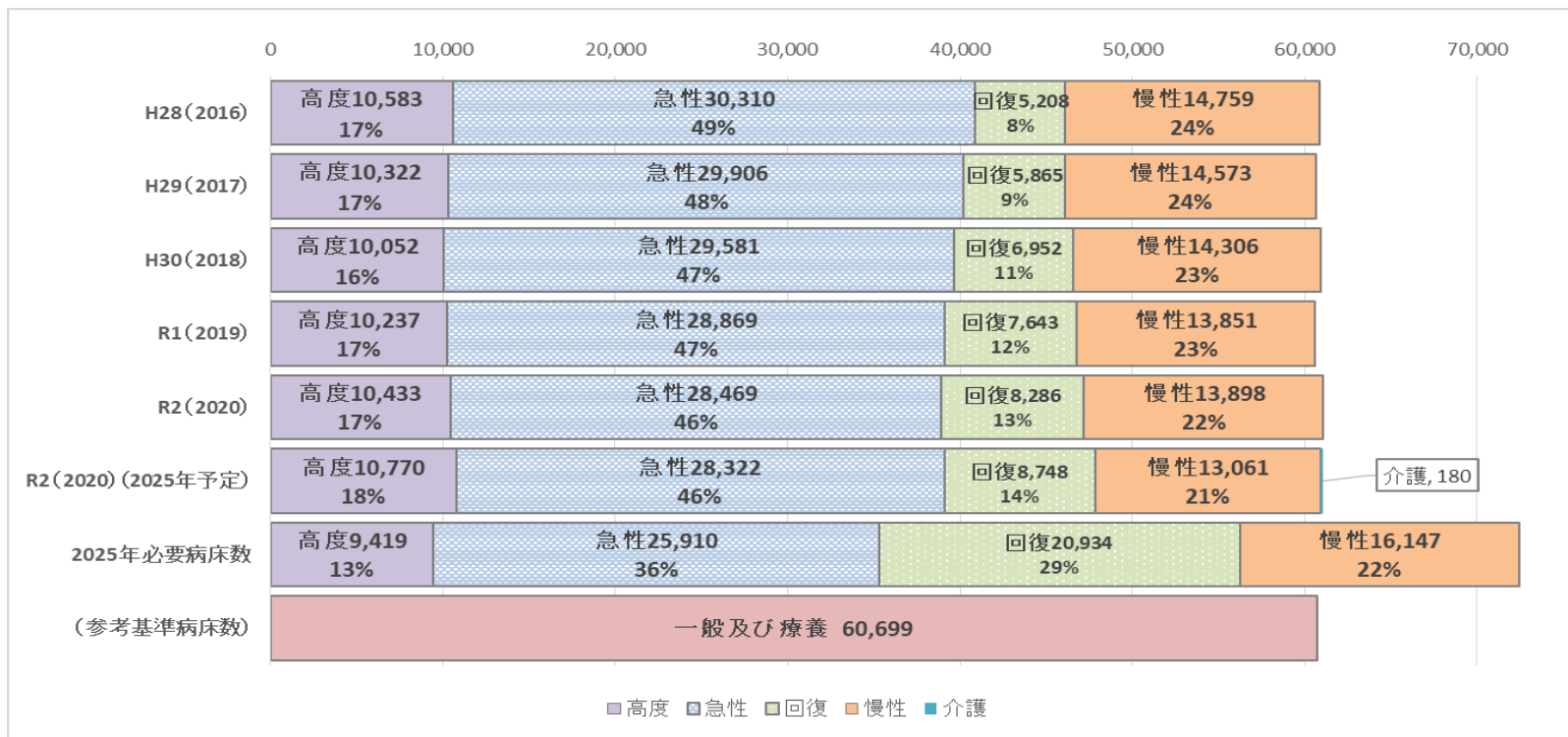
75歳以上1,000人当り

■ 2004 ■ 2018



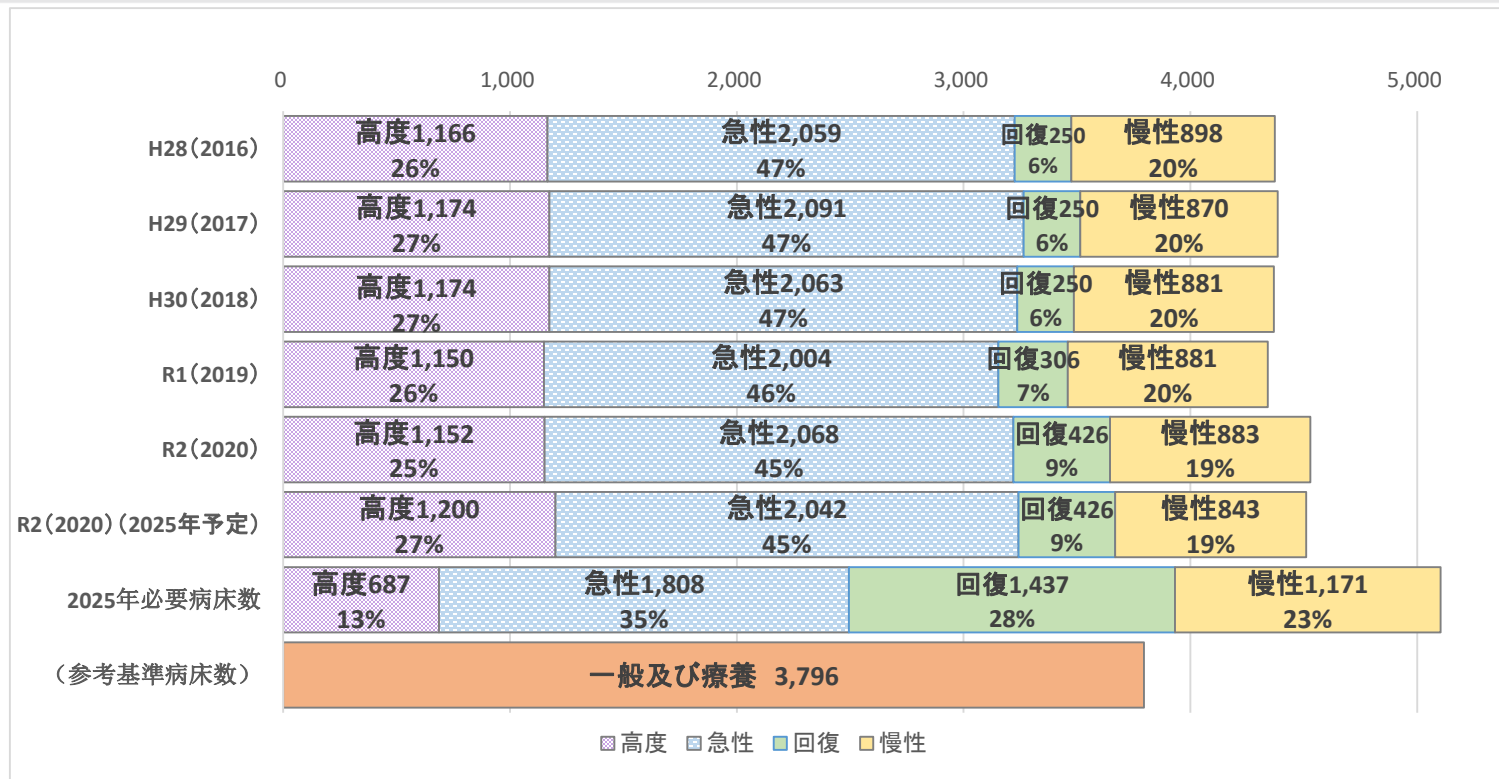
- 川崎北部は一般病床数、療養病床数ともに増、南部はともに減。
- 療養病床は、75歳以上1,000人当りの数で見るとどちらも減。

令和2年度病床機能報告（速報値）県全体



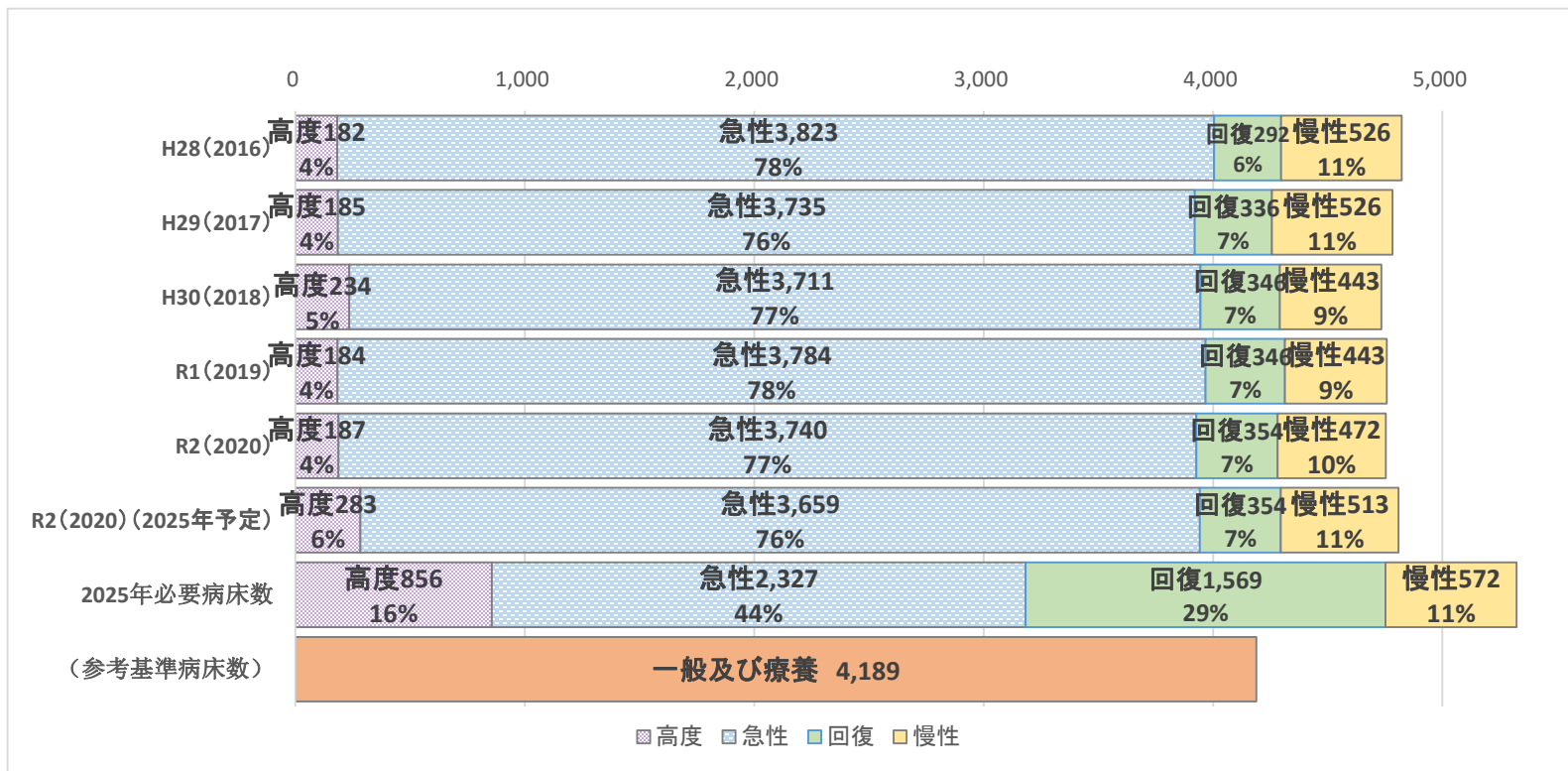
- 回復期は増加傾向
- 必要病床数として推計した4機能区分の割合と比較すると、回復期が少なく、急性期が多い状況

令和2年度病床機能報告（速報値）川崎北部地域



- 回復期は増加傾向
- 必要病床数として推計した4機能区分の割合と比較すると、回復期が少なく、高度急性期、急性期が多い状況

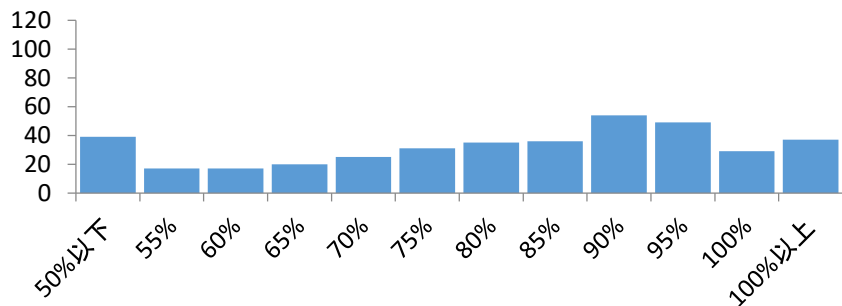
令和2年度病床機能報告（速報値）川崎南部地域



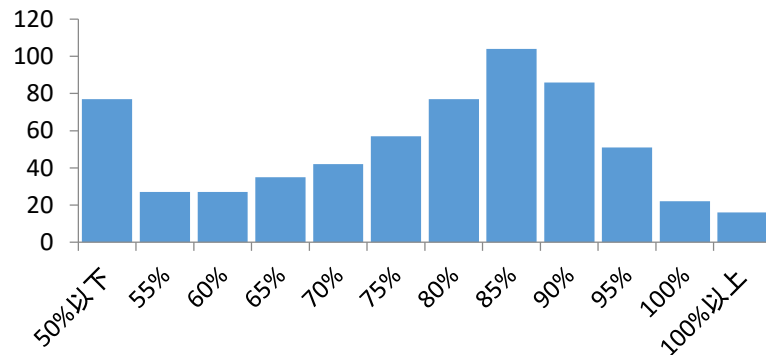
- 慢性期は増加傾向
- 必要病床数として推計した4機能区分の割合と比較すると、高度急性期、回復期が少なく、急性期が多い状況

病床利用率の分布状況 県全体 (令和2年度病床機能報告)

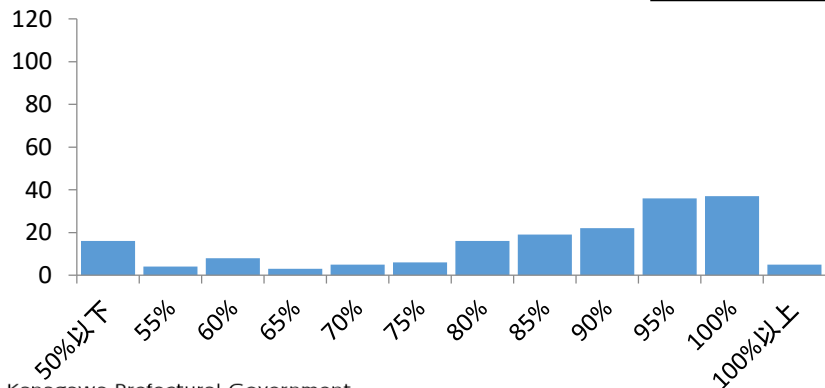
高度急性期 平均値: 77.83%



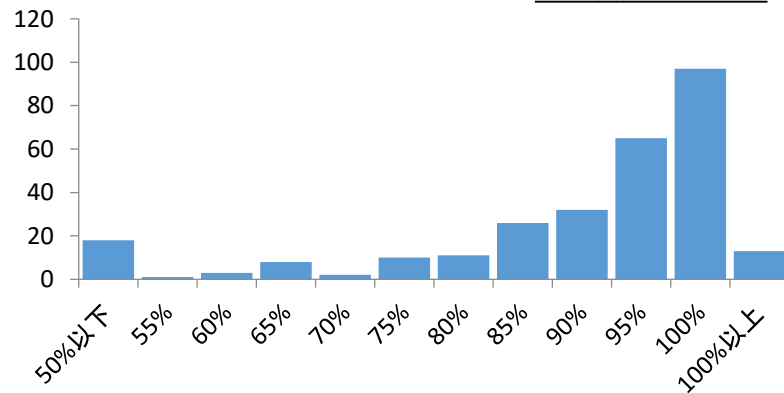
急性期 平均値: 73.24%



回復期 平均値: 79.93%



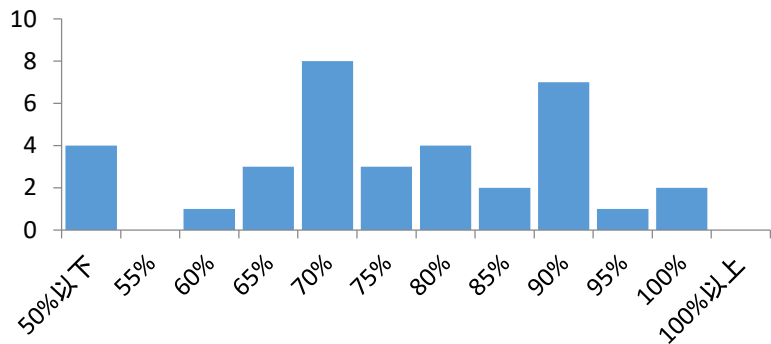
慢性期 平均値: 86.02%



病床利用率の分布状況 川崎北部地域 (令和2年度病床機能報告)

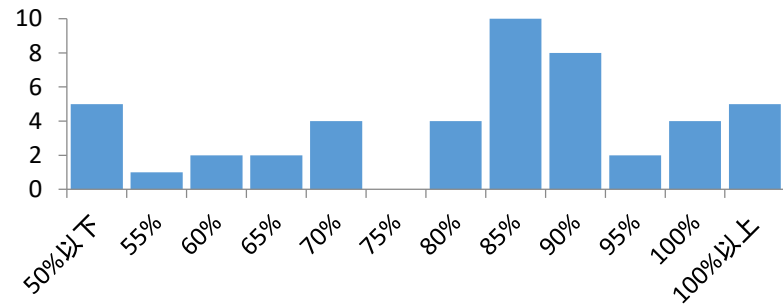
高度急性期

平均値: 72.82%



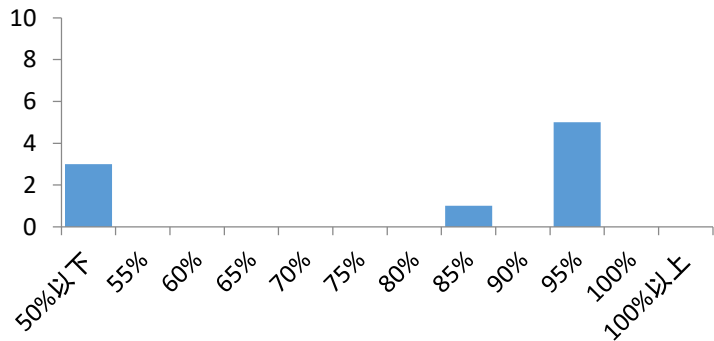
急性期

平均値: 76.08%



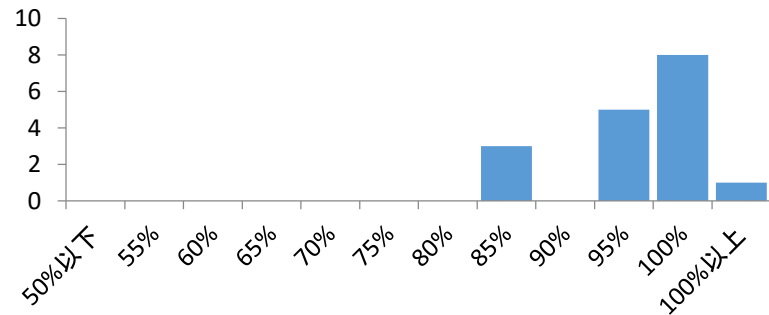
回復期

平均値: 65.49%



慢性期

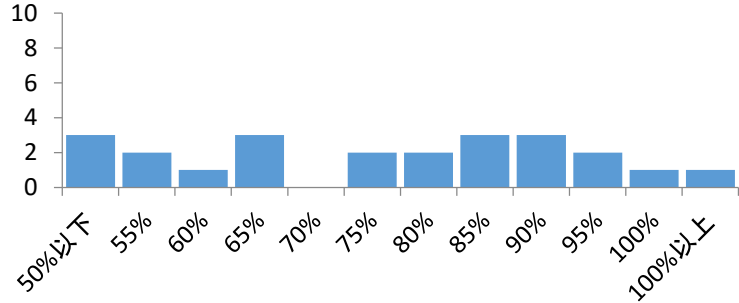
平均値: 94.81%



病床利用率の分布状況 川崎南部地域 (令和2年度病床機能報告)

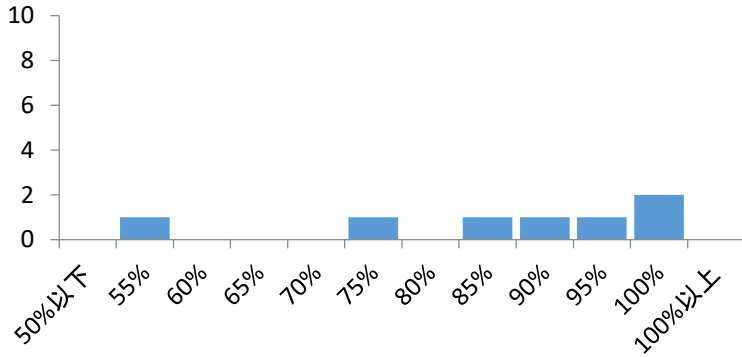
高度急性期

平均値: 70.89%



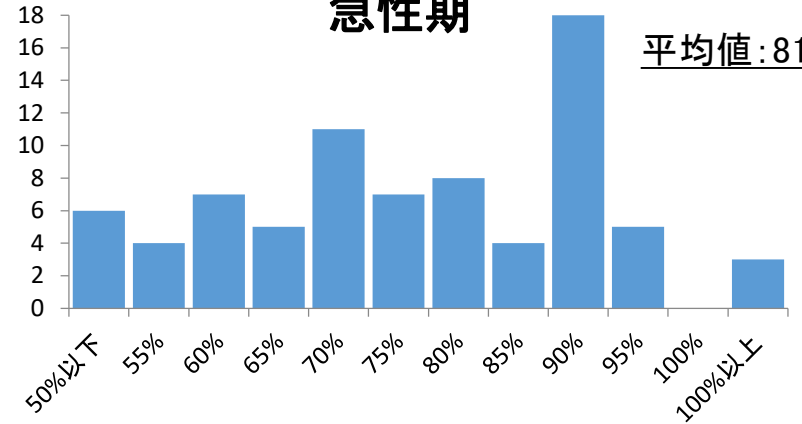
回復期

平均値: 83.95%



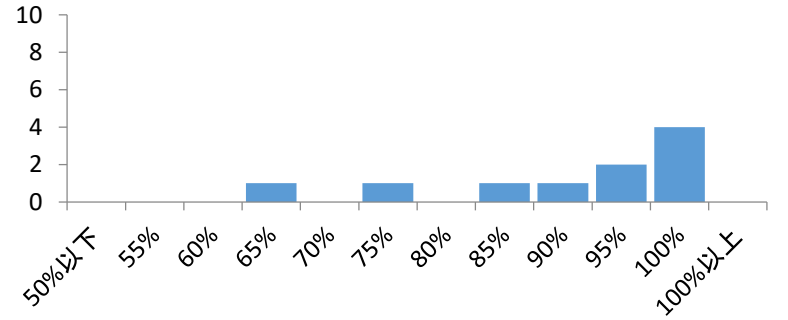
急性期

平均値: 81.30%

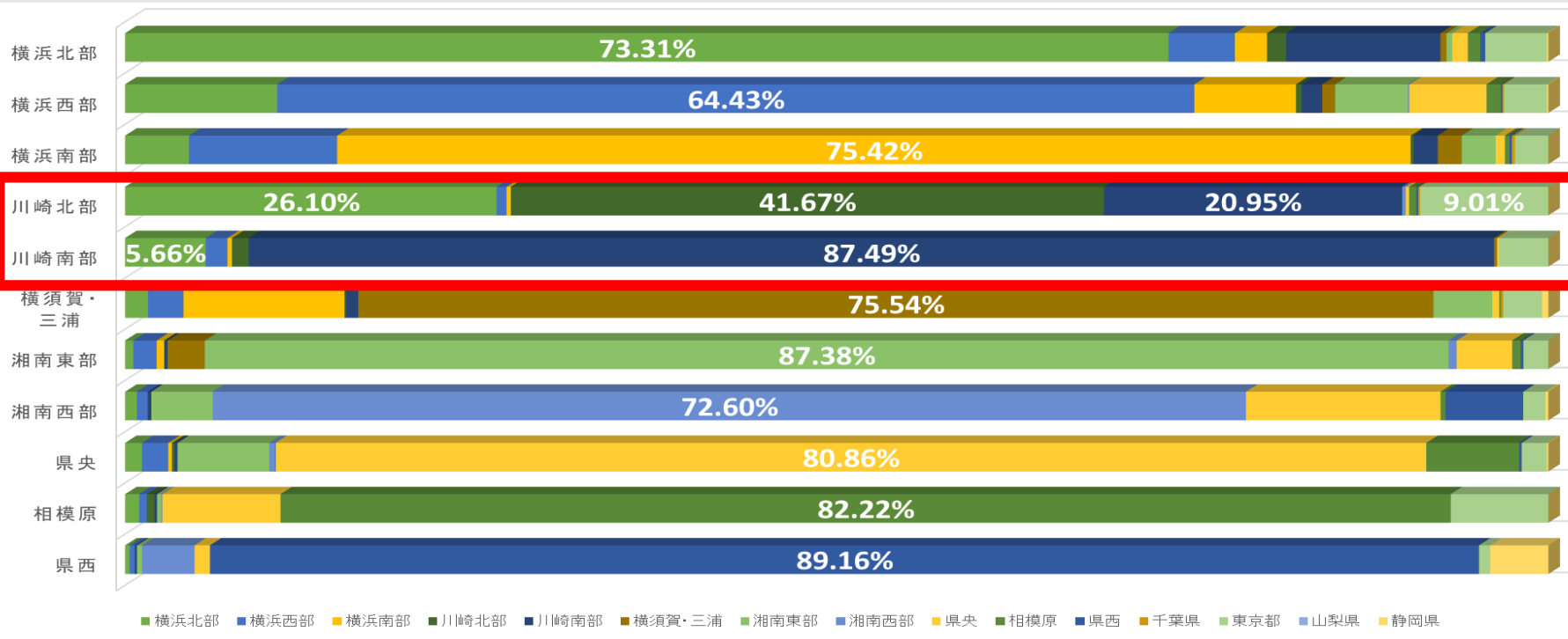


慢性期

平均値: 87.52%

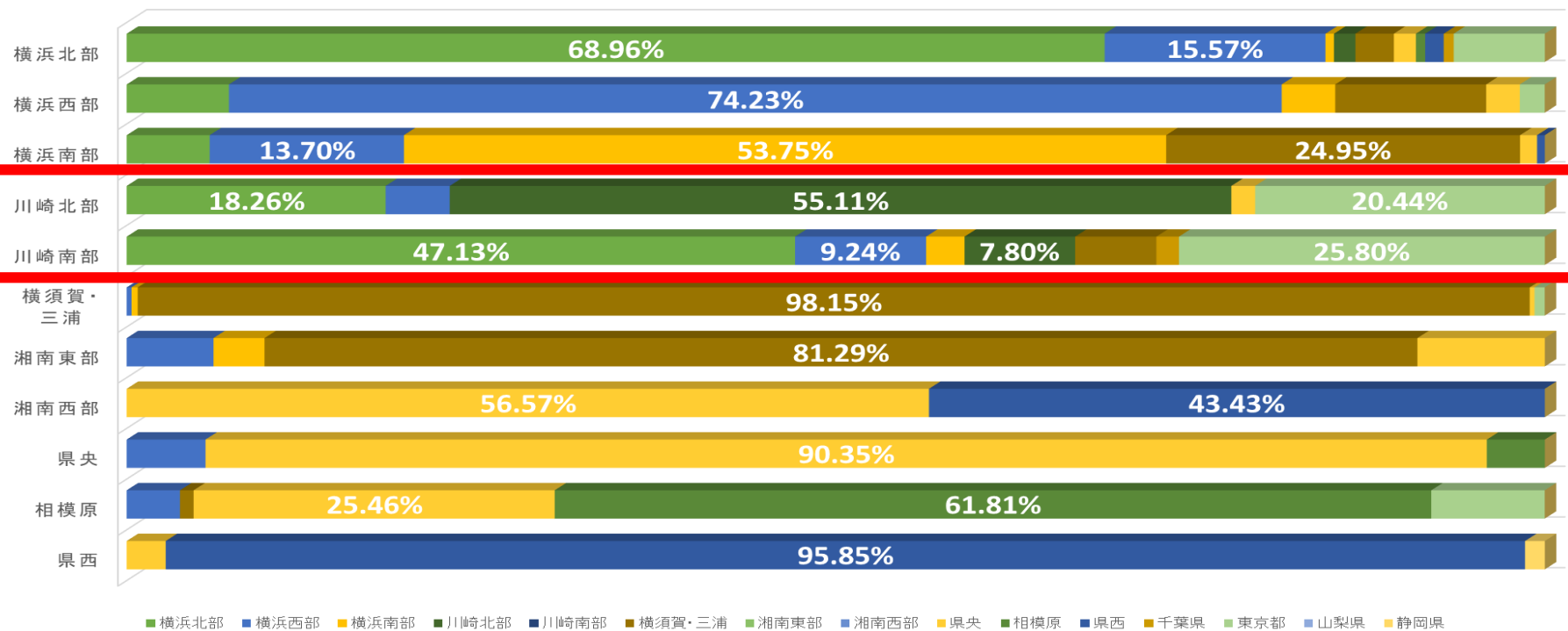


入院医療の自己完結率 (平成29年診療分NDBデータ 一般入院基本料 (7, 10対1))



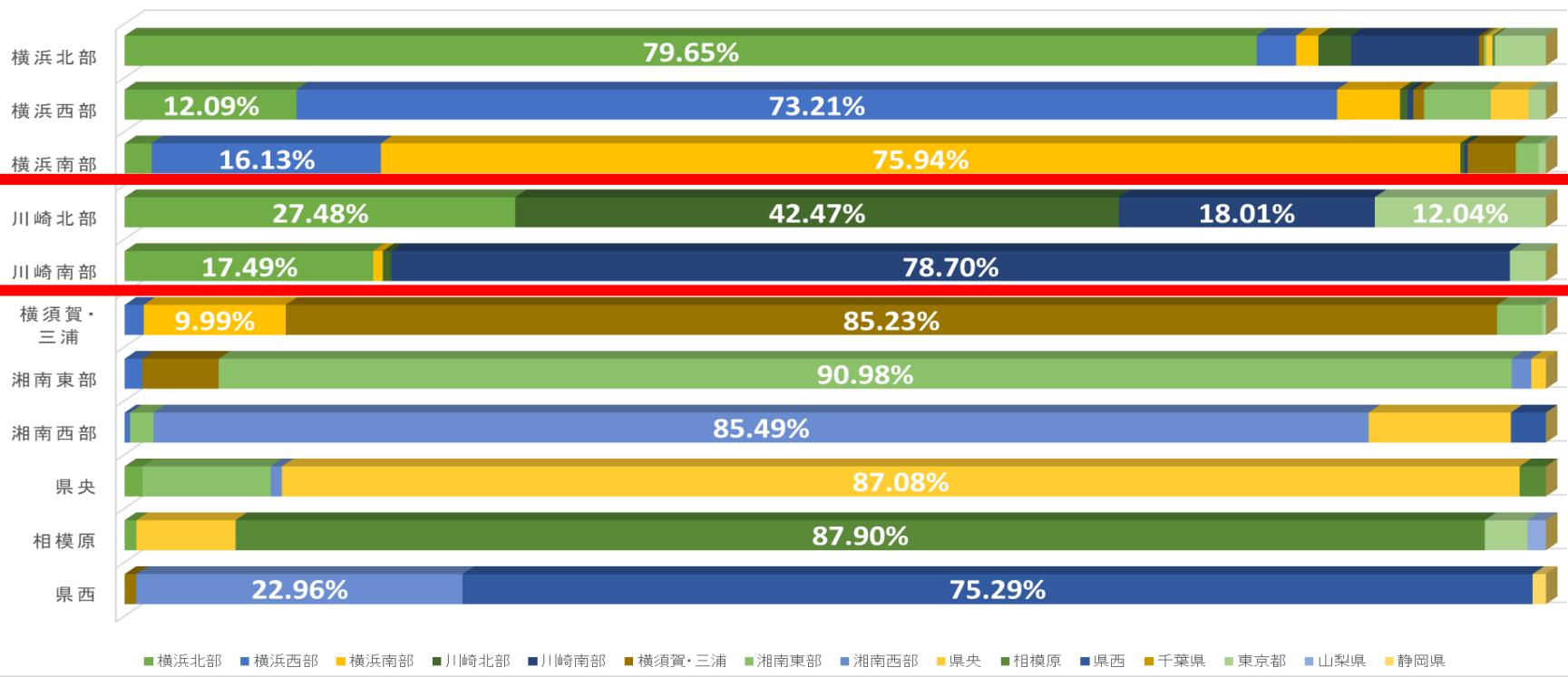
	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県
川崎北部	26.10%	0.70%	0.30%	41.67%	20.95%	0.00%	0.00%	0.25%	0.24%	0.51%	0.14%	0.12%	9.01%	0.00%	0.00%
川崎南部	5.66%	1.53%	0.32%	1.18%	87.49%	0.21%	0.00%	0.00%	0.12%	0.00%	0.00%	0.00%	3.49%	0.00%	0.00%

入院医療の自己完結率 (平成29年診療分NDBデータ 一般入院基本料 (13, 15対1))



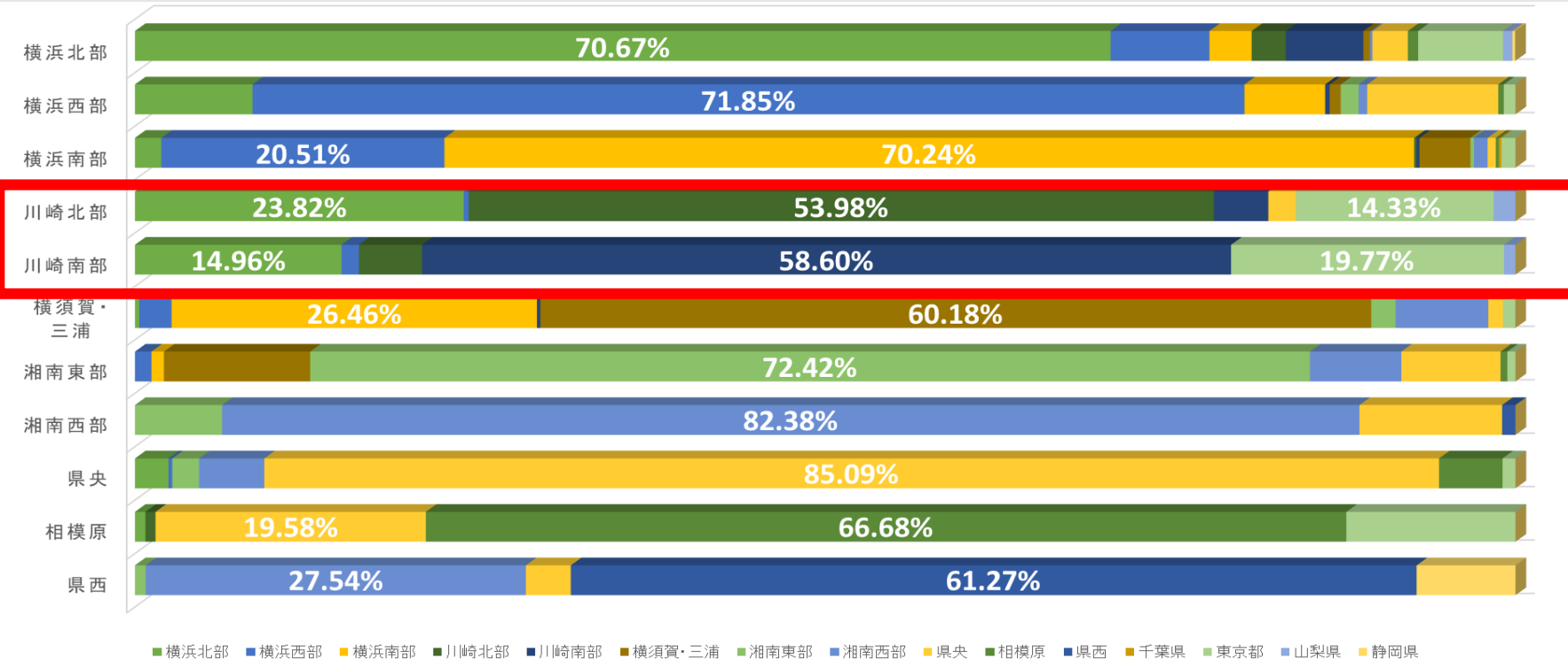
	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県
川崎北部	18.26%	4.52%	0.00%	55.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.68%	0.00%	0.00%	0.00%	20.44%	0.00%	0.00%
川崎南部	47.13%	9.24%	2.71%	7.80%	0.00%	5.73%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.59%	25.80%	0.00%	0.00%

入院医療の自己完結率 (平成29年診療分NDBデータ 地域包括ケア病棟)



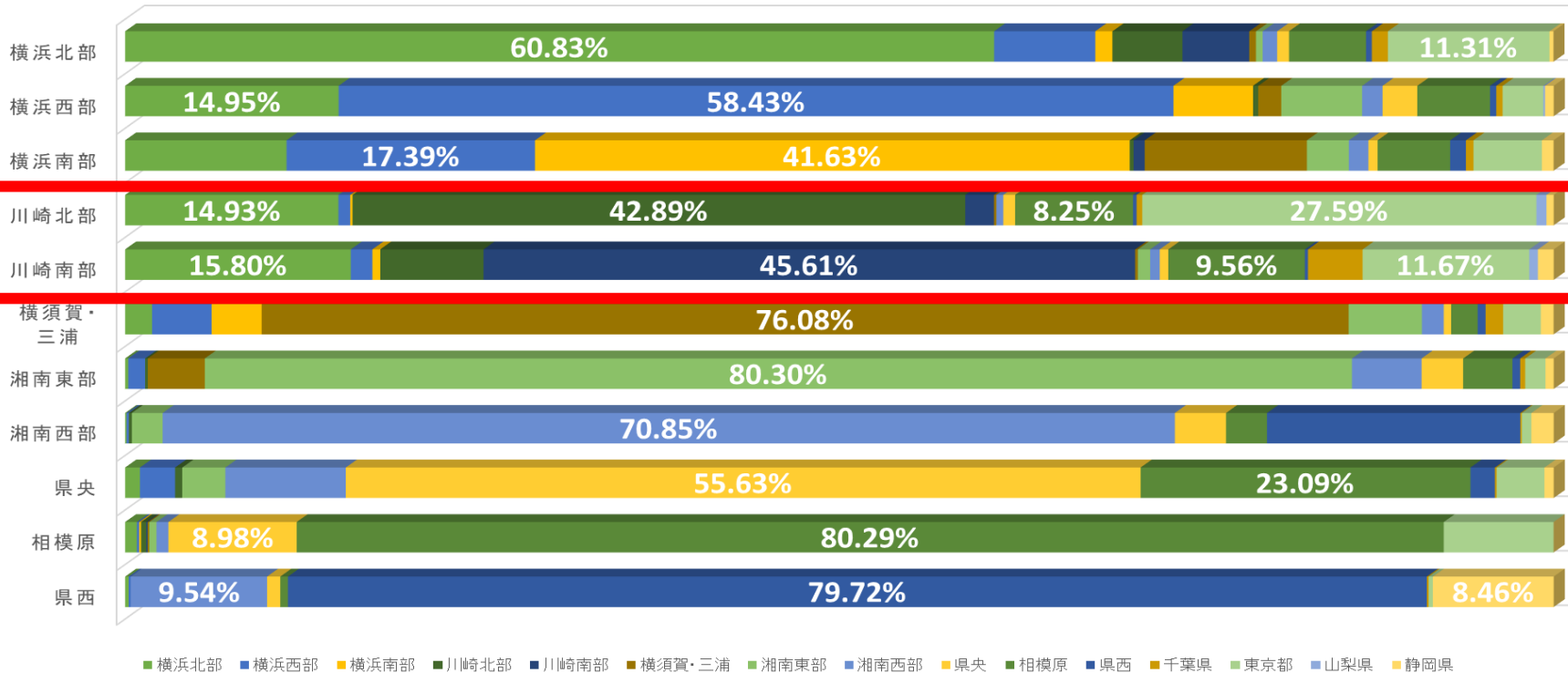
	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県
川崎北部	27.48%	0.00%	0.00%	42.47%	18.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	12.04%	0.00%	0.00%
川崎南部	17.49%	0.00%	0.67%	0.60%	78.70%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.54%	0.00%	0.00%

入院医療の自己完結率 (平成29年診療分NDBデータ 回復期リハビリテーション病棟入院料)



	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県
川崎北部	23.82%	0.36%	0.00%	53.98%	3.94%	0.00%	0.00%	0.00%	1.98%	0.00%	0.00%	0.00%	14.33%	1.59%	0.00%
川崎南部	14.96%	1.27%	0.00%	4.57%	58.60%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	19.77%	0.83%	0.00%

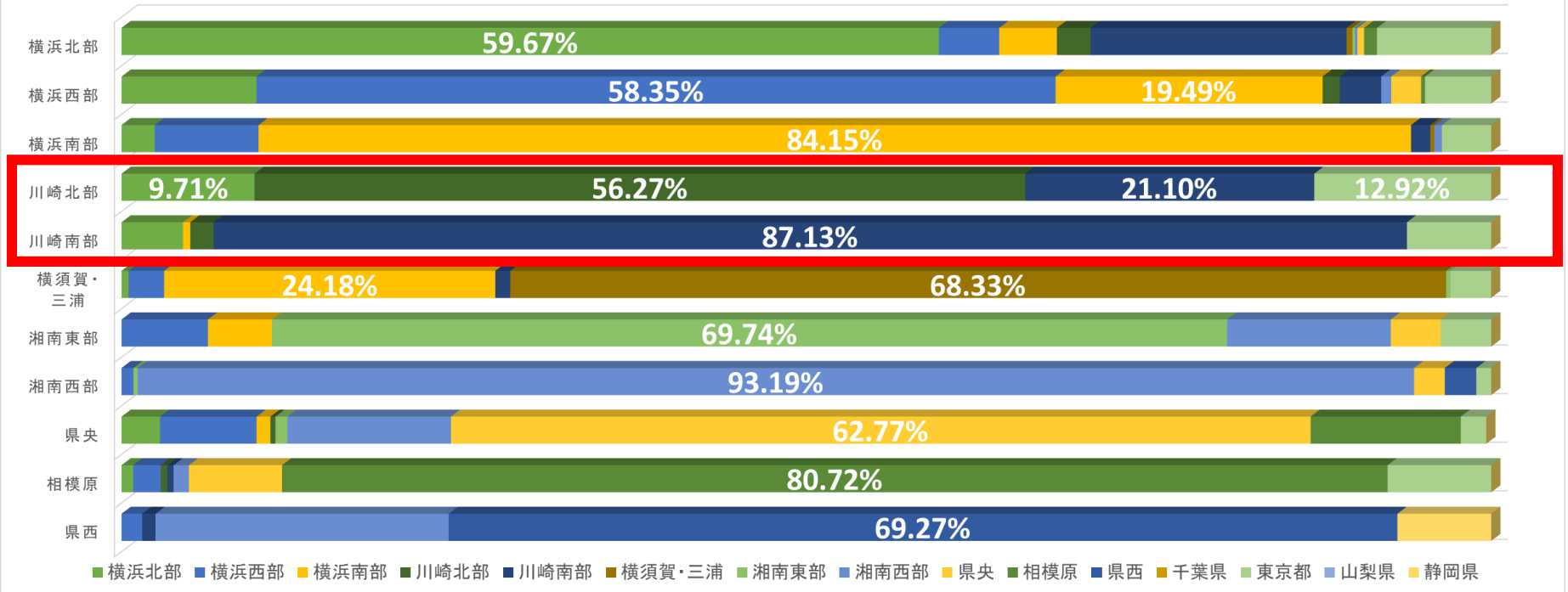
入院医療の自己完結率 (平成29年診療分NDBデータ 療養病棟入院基本料)



■ 横浜北部
 ■ 横浜西部
 ■ 横浜南部
 ■ 川崎北部
 ■ 川崎南部
 ■ 横須賀・三浦
 ■ 湘南東部
 ■ 湘南西部
 ■ 県央
 ■ 相模原
 ■ 県西
 ■ 千葉県
 ■ 東京都
 ■ 山梨県
 ■ 静岡県

	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県
川崎北部	14.93%	0.83%	0.16%	42.89%	2.01%	0.17%	0.00%	0.48%	0.83%	8.25%	0.25%	0.40%	27.59%	0.70%	0.51%
川崎南部	15.80%	1.51%	0.55%	7.23%	45.61%	0.19%	0.86%	0.67%	0.60%	9.56%	0.22%	3.82%	11.67%	0.60%	1.11%

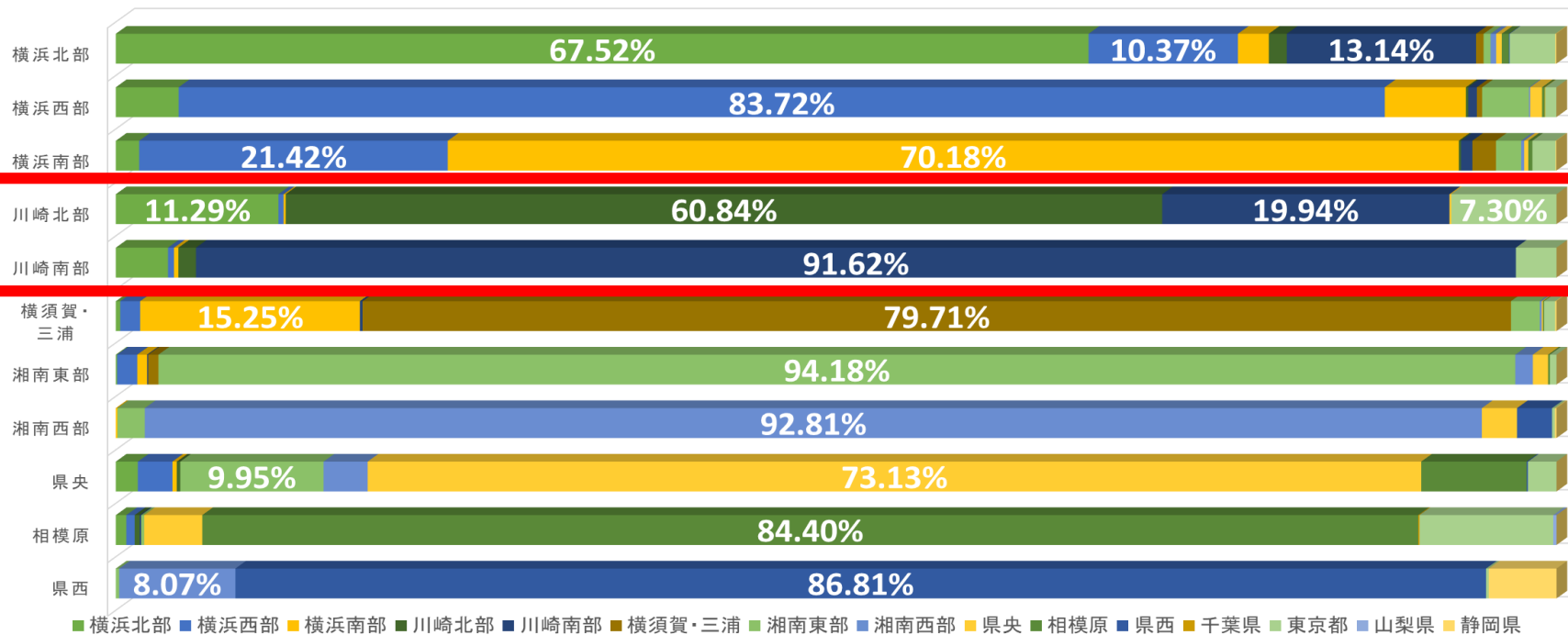
入院医療の自己完結率 (平成29年度診療分NDBデータ 集中治療室等の体制)



	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県
川崎北部	9.71%	0.00%	0.00%	56.27%	21.10%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	12.92%	0.00%	0.00%
川崎南部	4.48%	0.00%	0.54%	1.70%	87.13%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6.15%	0.00%	0.00%

救急医療の自己完結率

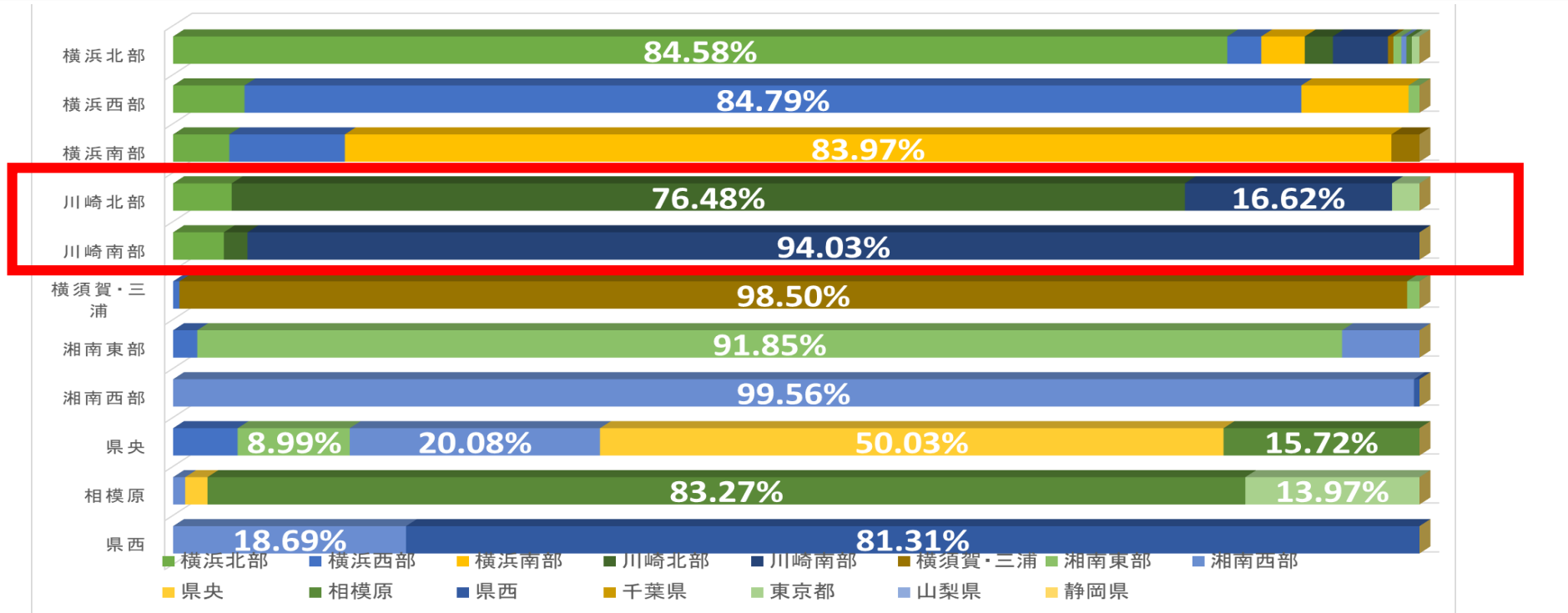
(平成29年度診療分NDBデータ 2次救急：入院)



	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県
川崎北部	11.29%	0.36%	0.14%	60.84%	19.94%	0.00%	0.00%	0.00%	0.13%	0.00%	0.00%	0.00%	7.30%	0.00%
川崎南部	3.62%	0.42%	0.30%	1.22%	91.62%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.83%	0.00%

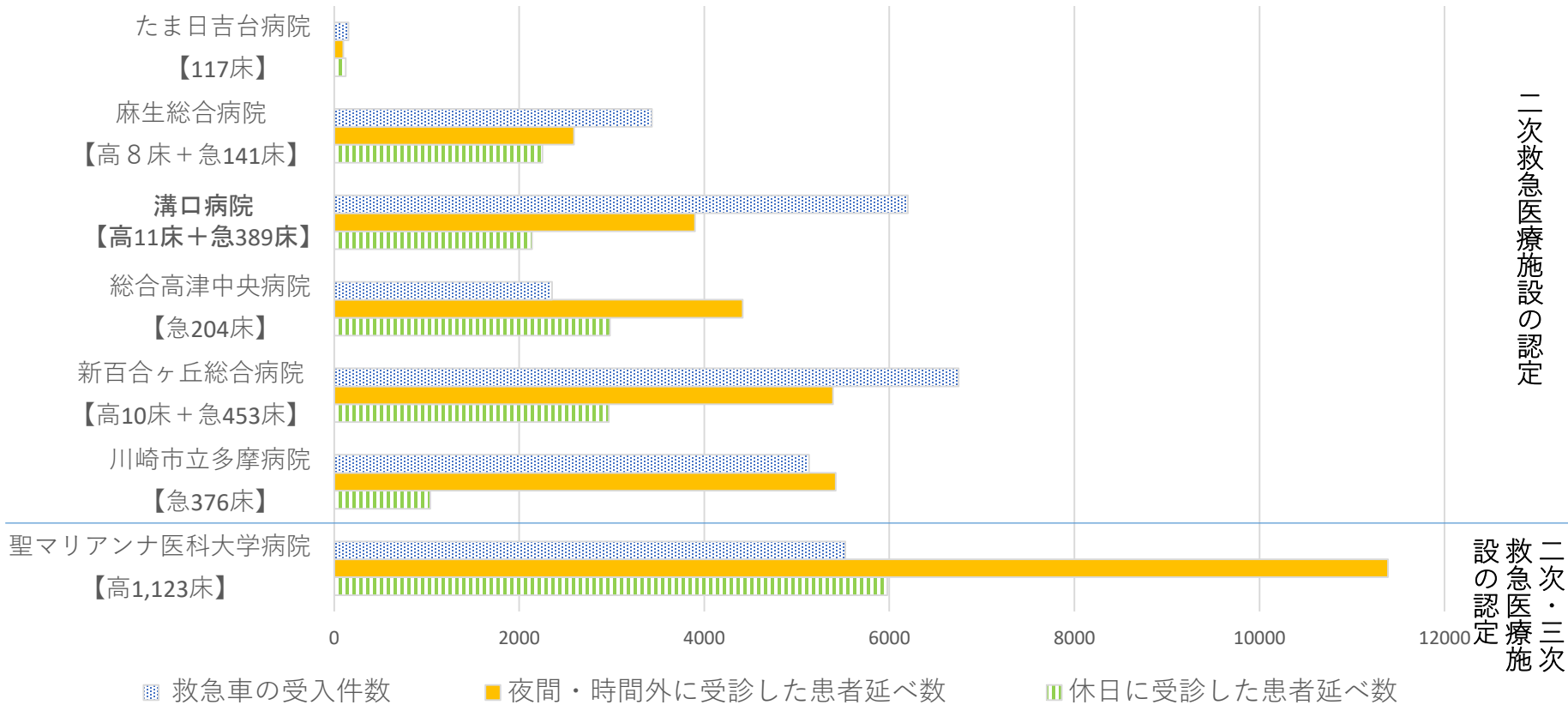
救急医療の自己完結率

(平成29年度診療分NDBデータ 3次救急：入院)



	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県
川崎北部	4.70%	0.00%	0.00%	76.48%	16.62%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.20%	0.00%	0.00%
川崎南部	4.07%	0.00%	0.00%	1.90%	94.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

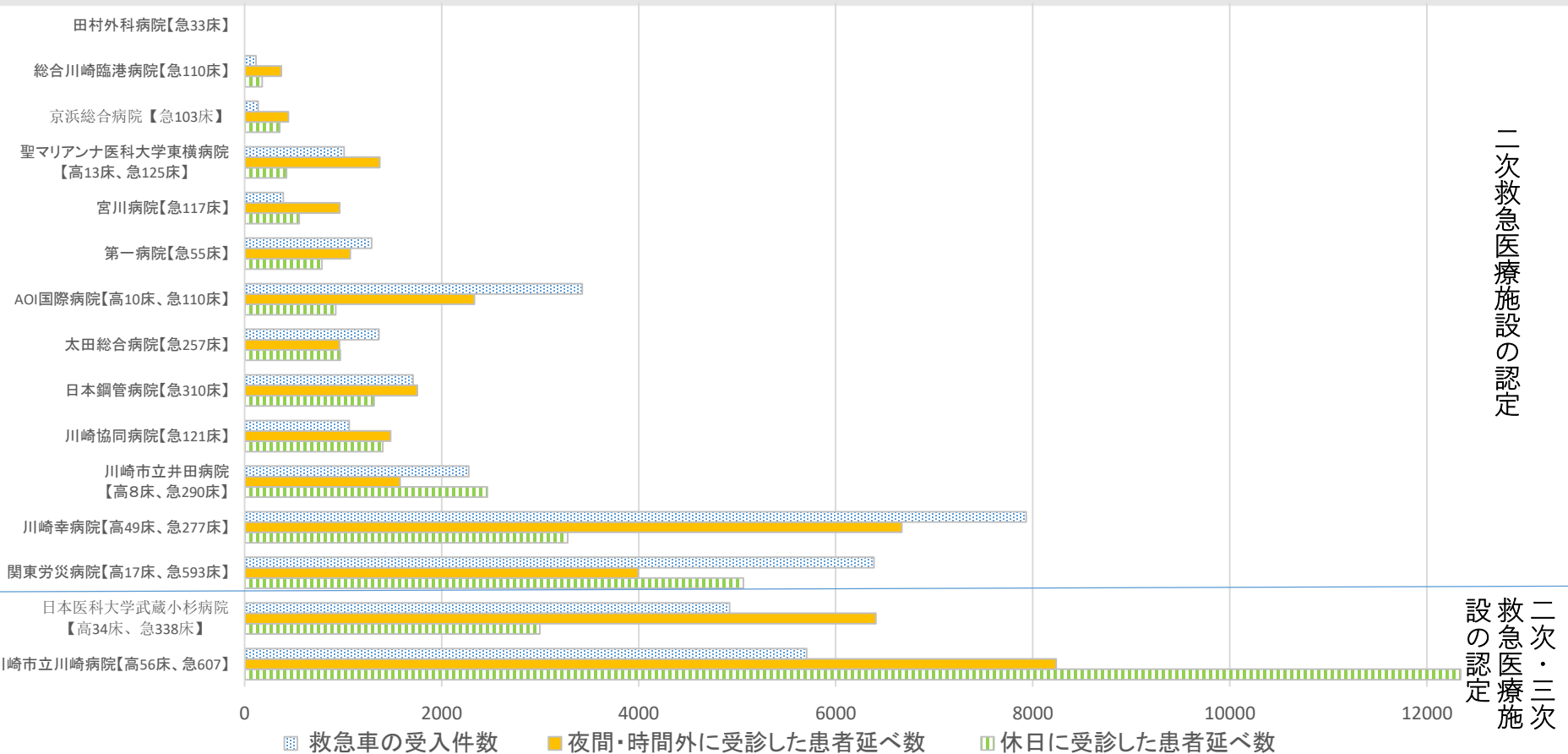
救急医療の実施状況 川崎北部 (令和2年度病床機能報告)



二次救急医療施設の認定

二次・三次救急医療施設の認定

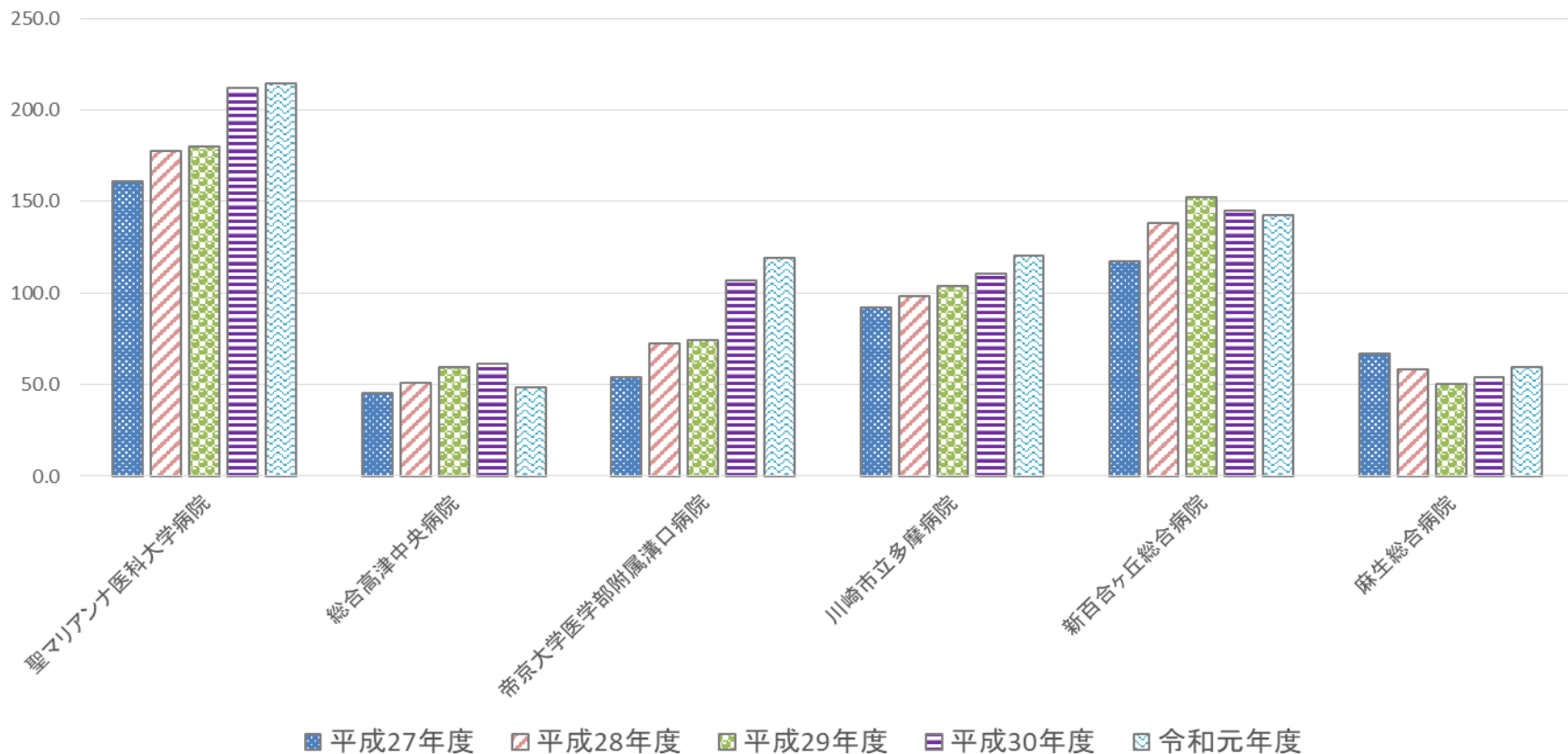
救急医療の実施状況 川崎南部 (令和2年度病床機能報告)



救急車による搬送件数 川崎北部 (令和元年度DPC導入の影響評価に係る「退院患者調査」)

平成27年～令和元年の推移

1か月あたりの件数

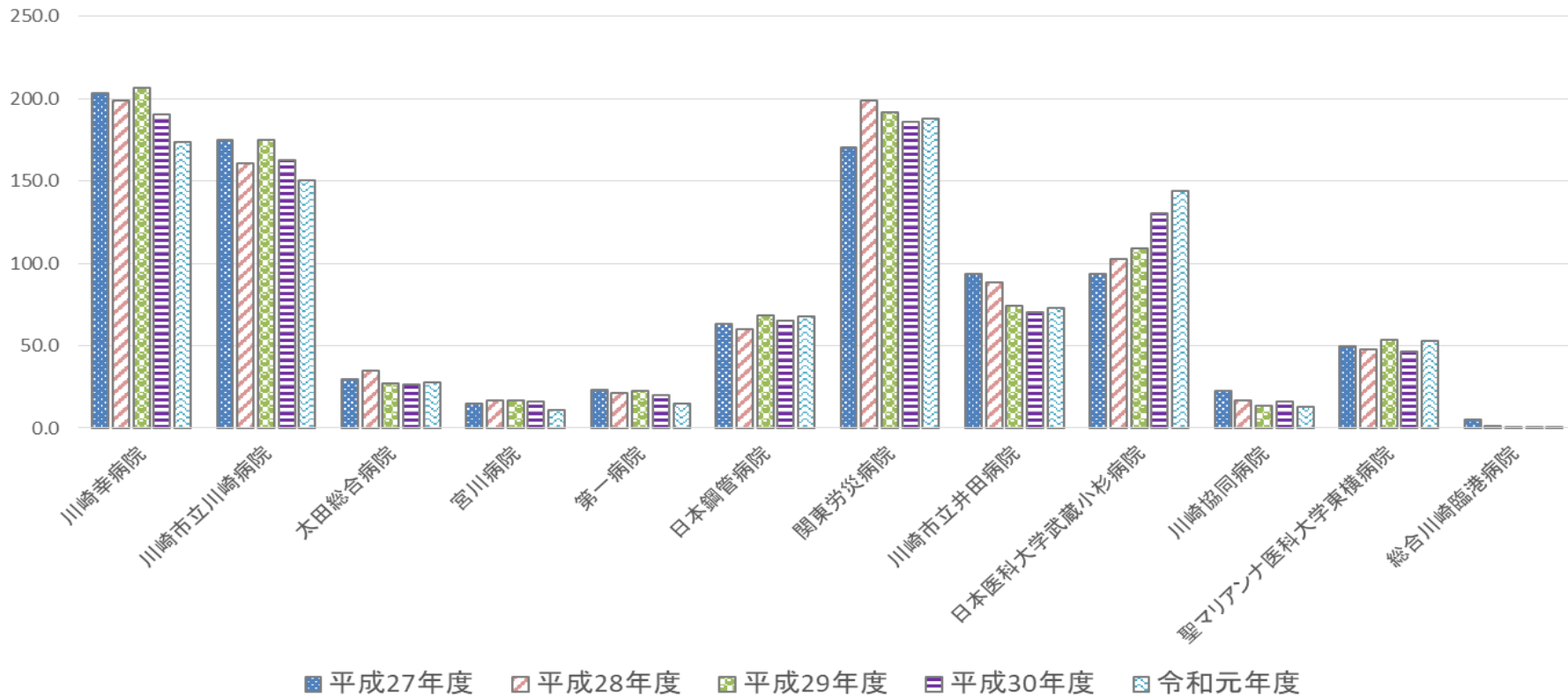


救急車による搬送件数 川崎南部

(令和元年度DPC導入の影響評価に係る「退院患者調査」)

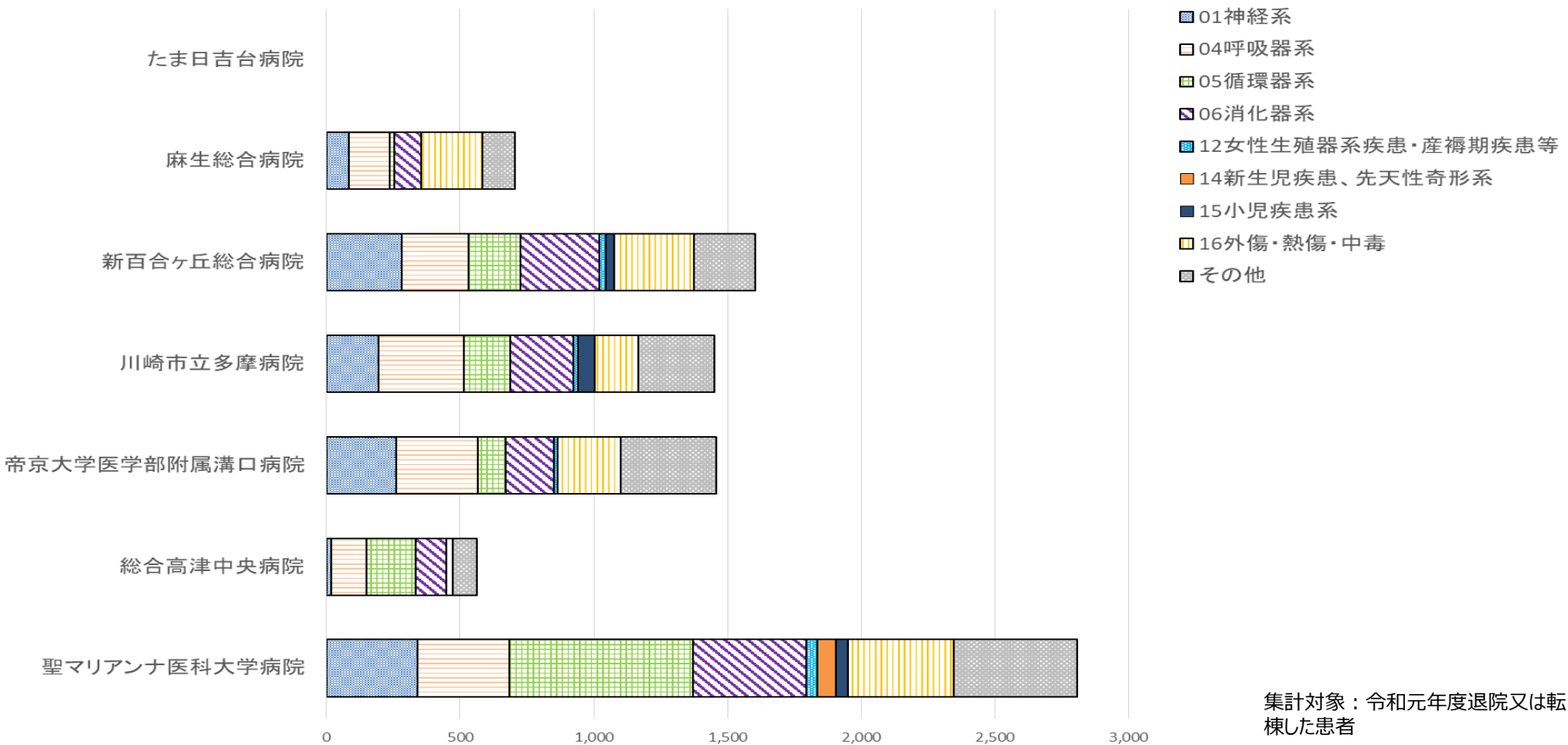
平成27年～令和元年の推移

1か月あたりの件数



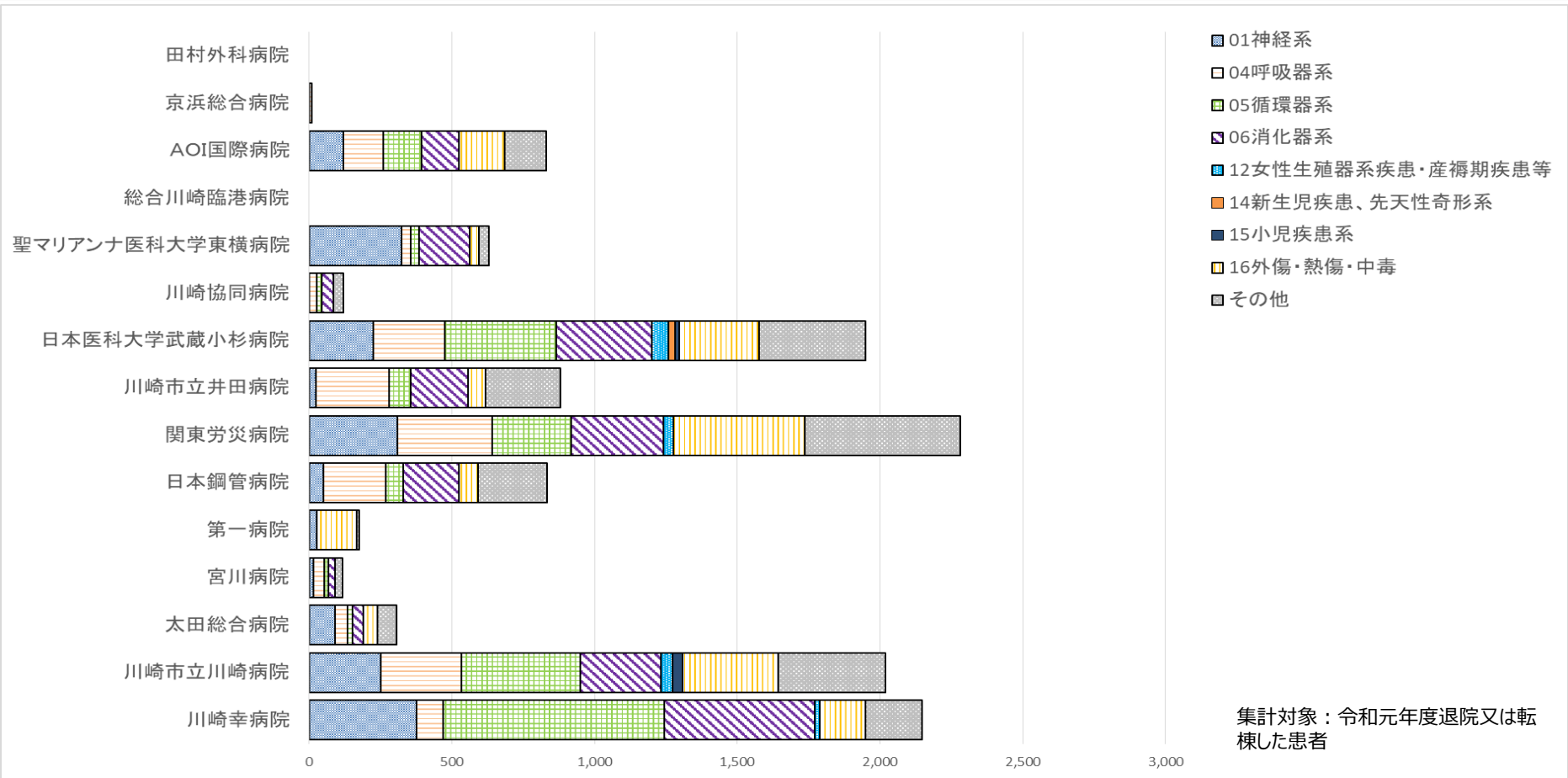
救急車による搬送件数MDC別集計 川崎北部

(令和元年度DPC導入の影響評価に係る「退院患者調査」)



救急車による搬送件数MDC別集計 川崎南部

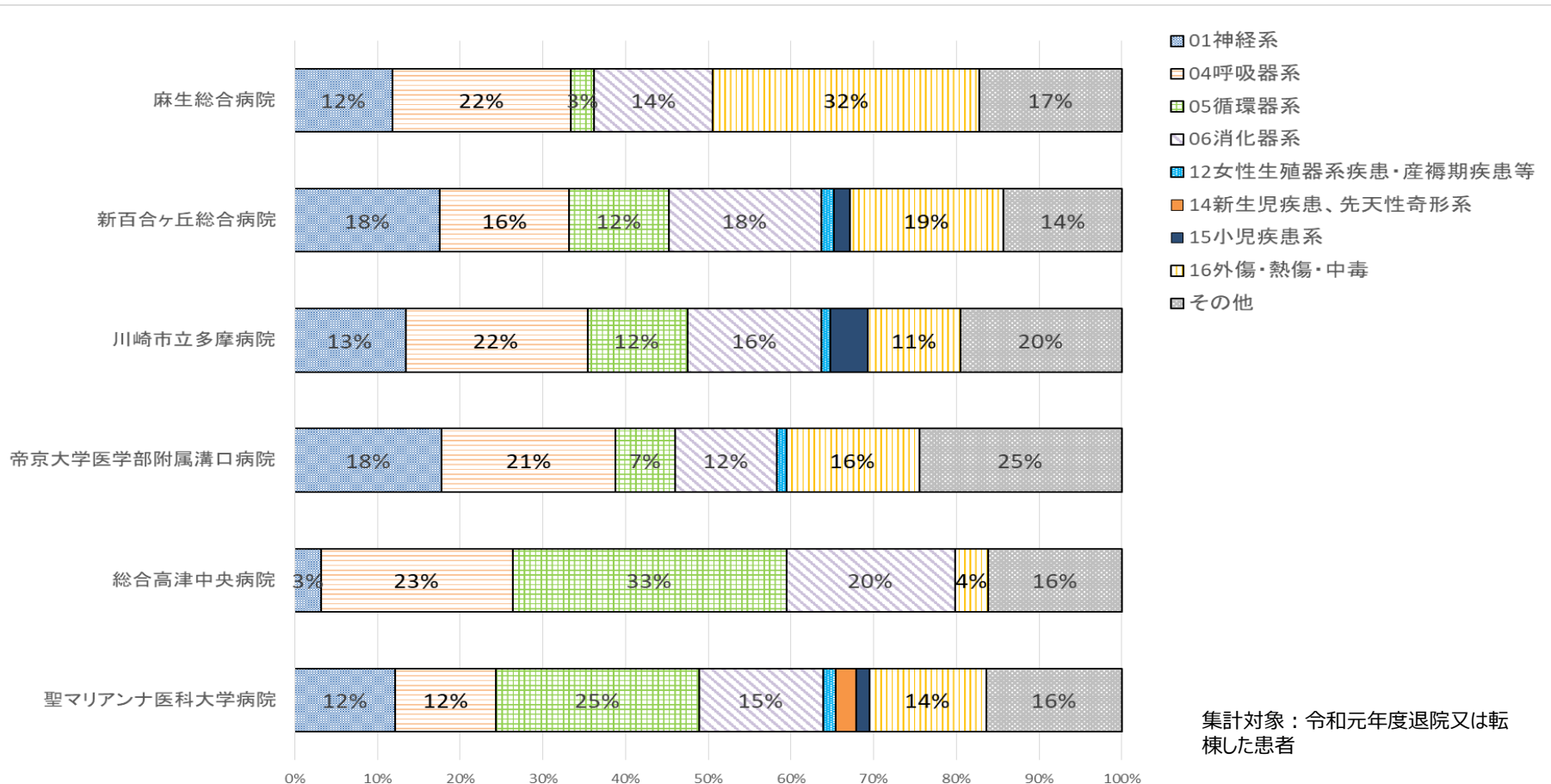
(令和元年度DPC導入の影響評価に係る「退院患者調査」)



集計対象：令和元年度退院又は転棟した患者

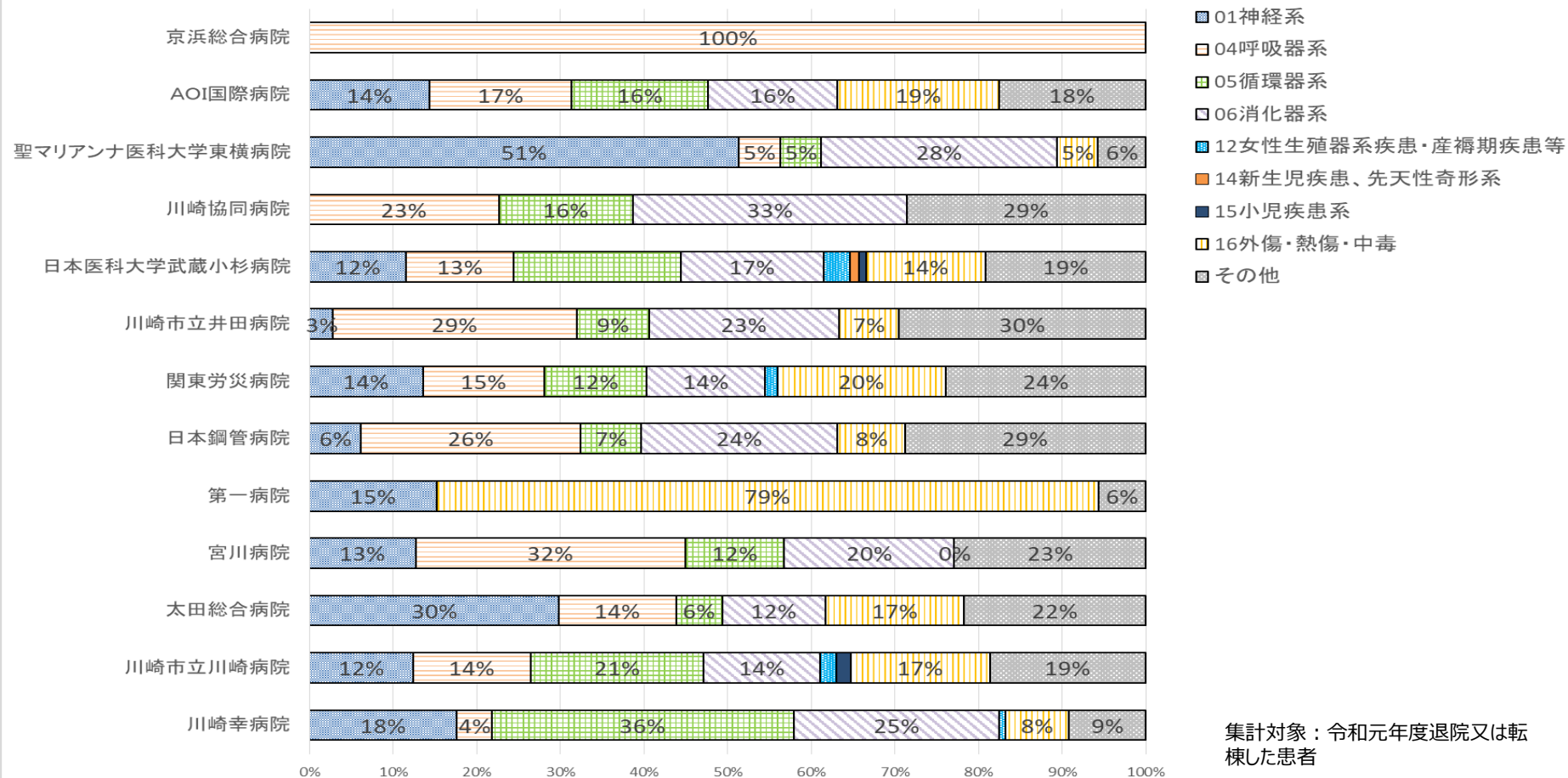
救急車による搬送件数MDC別割合 川崎北部

(令和元年度DPC導入の影響評価に係る「退院患者調査」)



救急車による搬送件数MDC別割合 川崎南部

(令和元年度DPC導入の影響評価に係る「退院患者調査」)



集計対象：令和元年度退院又は転棟した患者

救急医療に関する指標 (令和3年度国データブック)

二次医療圏名	救命救急センターを有する病院数	特定集中治療室のある病院数	特定集中治療室のある病院の病床数	初期救急医療施設の数	一般診療所のうち、初期救急医療に参画する機関の割合	緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数(医療機関数)	緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数(算定回数)	緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数(レセプト件数)
横浜北部	3	6	68	4	3			
横浜西部	3	7	75	3	3	45	111,349	20,512
横浜南部	3	8	72	7	3			
川崎北部	1	3	24	1	10	6	10,647	2,019
川崎南部	2	5	46	2	11	12	19,511	3,587
横須賀・三浦	3	4	30	4	7	9	42,784	7,968
湘南東部	1	2	13	4	14	10	25,395	4,537
湘南西部	2	1	32	5	10	7	13,683	2,880
県央	1	5	38	2	2	11	11,634	2,157
相模原	1	2	15	5	5	10	9,043	1,622
県西	1	1	4	4	8	6	5,630	1,129
神奈川県	21	44	417	41	6	116	249,676	46,411
出典資料名	医療施設調査	医療施設調査	医療施設調査	医療施設調査	医療施設調査	NDB	NDB	NDB
調査年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年	令和元年度	令和元年度	令和元年度

NDBデータについて P16~23

○流出・流入状況を把握するために、国民健康保険・後期高齢者医療制度のレセプトに絞り込んだデータを集計している。（そのため、医療需要の絶対量を把握することには適さない点留意が必要。）患者住所地と医療機関所在地の2つのデータを分析することにより、医療圏別にみた患者の流出入の状況を把握し、医療圏における自己完結度を検討する。

○次の項目はそれぞれ以下の診療行為のレセプト件数を集計している。

【集中治療室の体制】ハイケアユニット入院医療管理料、特定集中治療室管理料1～4、小児特定集中治療室管理料

【2次救急】救急救命管理料、救急医療管理加算1、救急医療管理加算2

【3次救急】救命救急入院料1～4